

# 統計データ

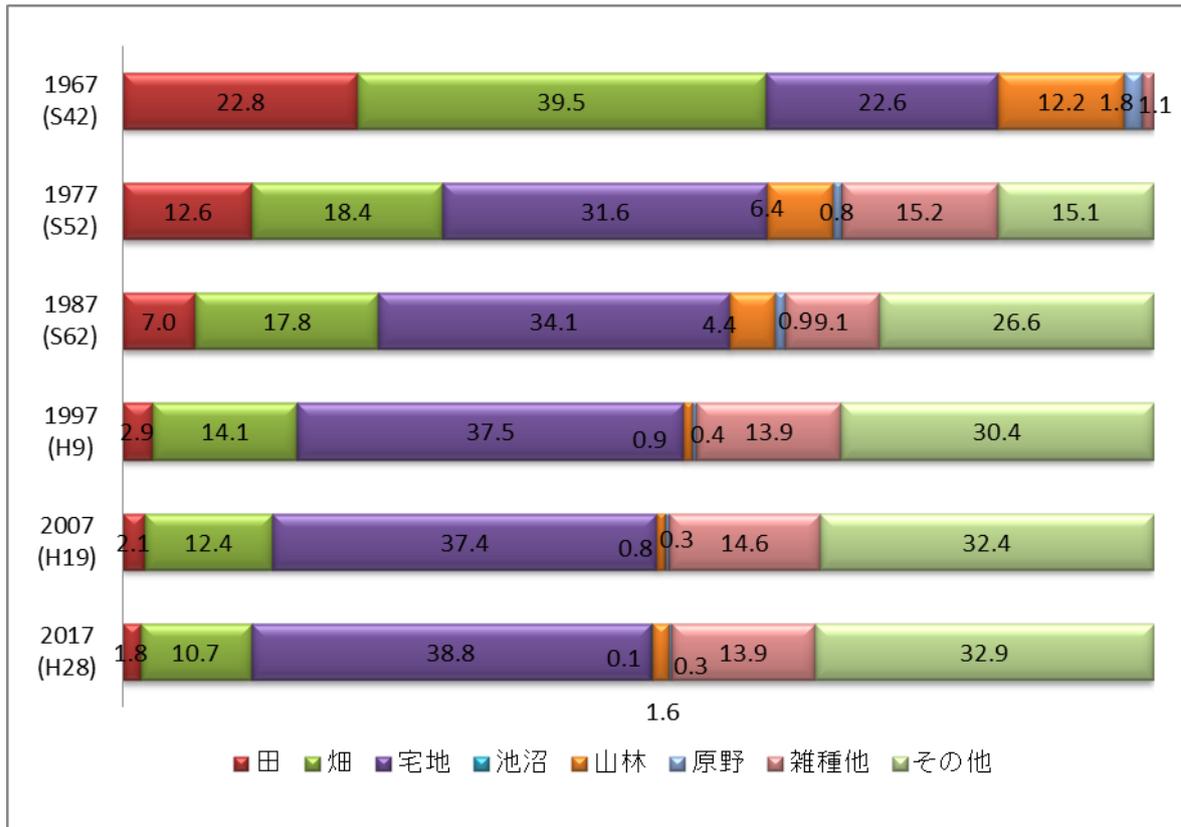


# 1 土地・気象

## 1.1 地目別土地利用

朝霞市は、この50年間で田畑や山林が宅地化され、その比率は年々増加していることがうかがえます。

○地目別土地面積割合の推移（各年1月1日現在）



資料：課税課

○北朝霞駅ホームから見た朝霞



【昭和45年頃】

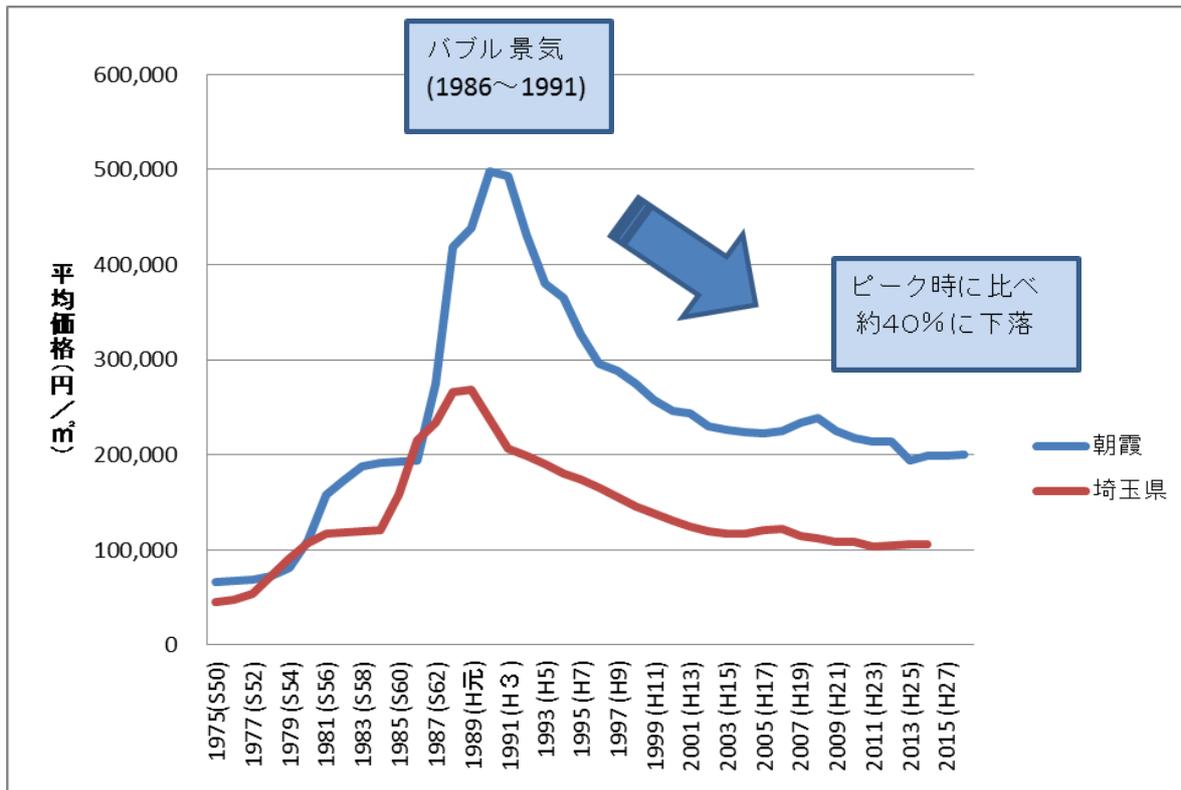


【現在】

## 1. 2 土地の標準価格（住宅地）

朝霞市の土地の標準価格は、1977（S52）年が約100,000円/㎡だったのが、バブル経済時には約5倍まで跳ね上がりましたが、バブル経済崩壊後は、土地の標準価格は下落し、ここ数年間は200,000円/㎡前後を推移している。

### ○土地の標準価格（住宅地）の推移



資料：埼玉県土地水政策課 HP

### 埼玉県内各市ランキング

・土地の標準価格（住宅地）－2016（平成28）年7月1日現在－

順位	市町村	平均価格(円/㎡)	順位	市町村	平均価格(円/㎡)
1	戸田市	231,000	8	さいたま市	172,200
2	蕨市	228,000	：		
3	和光市	208,000	：	県平均	117,500
4	朝霞市	200,100	：		
5	川口市	197,800	38	羽生市	31,900
6	志木市	185,400	39	行田市	31,300
7	新座市	178,100	40	秩父市	28,800

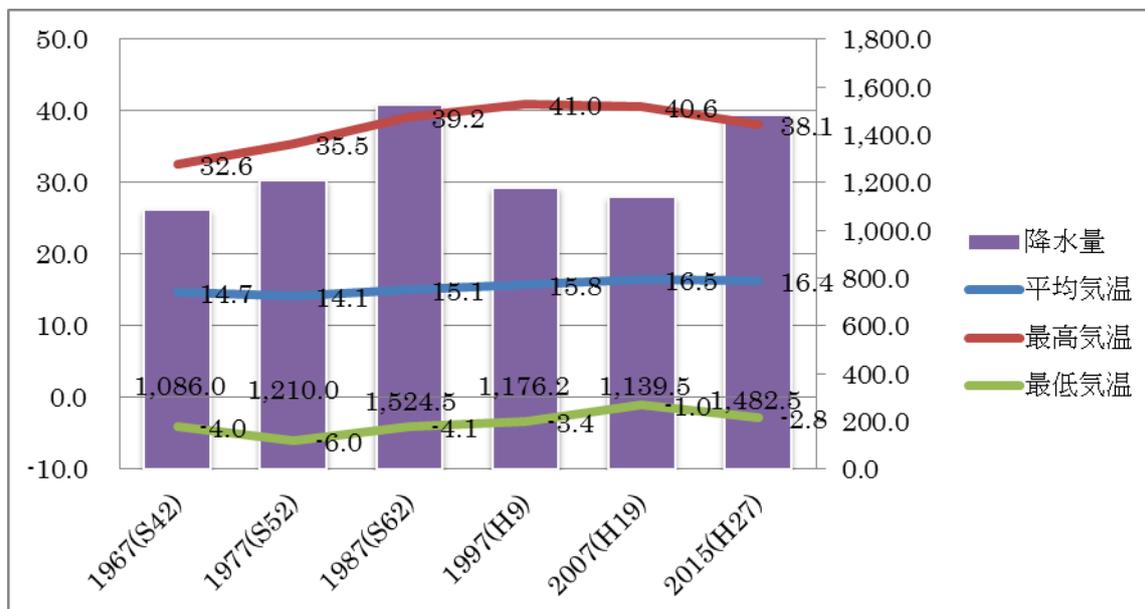
資料：埼玉県土地水政策課 HP



### 1.3 気象

朝霞市は、この50年間で最高気温は5℃以上、平均気温で2℃近く上昇しています。

#### ○気温の推移



資料：埼玉県南西部消防本部

#### 埼玉県の平野部が暑い理由

埼玉県の平野部が太平洋高気圧に覆われて夏に暑くなる理由は2つあります。

1つ目は、昼間に吹く南風が影響しています。東京などの大都市を通ってくる間に、どんどん温められ、とても熱い風となって気温を上げます。これはヒートアイランド現象が影響していると考えられます。

2つ目は、フェーン現象です。上空を吹いている西風が秩父の山々を越えて吹き降りてきます。吹き降りてくる時に温度が上がった空気が埼玉県の平野部に流れ込み、気温が上がります。

平成19年8月16日に、熊谷市で40.9℃を観測しました。

一方、昭和29年1月27日に-15.8℃を観測しました。

#### ○熊谷市、秩父市との比較（2015年）

自治体名	最高気温	最低気温	平均気温
朝霞市	38.1	-2.8	16.4
熊谷市	38.6	-4.6	16.0
秩父市	37.2	-6.6	14.1

資料：熊谷市、秩父市 HP

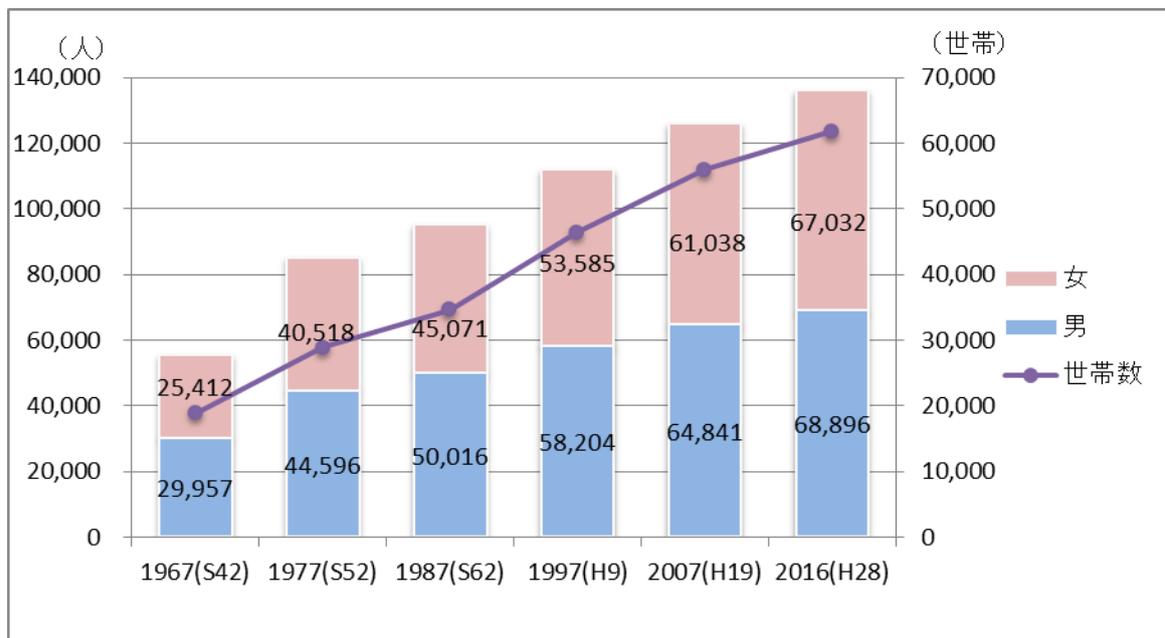
## 2 人口

### 2.1 世帯・人口の推移

朝霞市の世帯数は、50年前と比較すると約3.2倍、人口は約2.5倍に増加しています。

人口の増加率をみると、第2次ベビーブームの影響もあり、昭和40年代～50代前半にかけて大幅に増加しており、現在でも増加を続けています。

○世帯と男女別人口の推移（各年1月1日現在）



○人口及び人口増減率の推移



資料：市政情報課

## 2.2 人口構成（全国・埼玉県との比較）

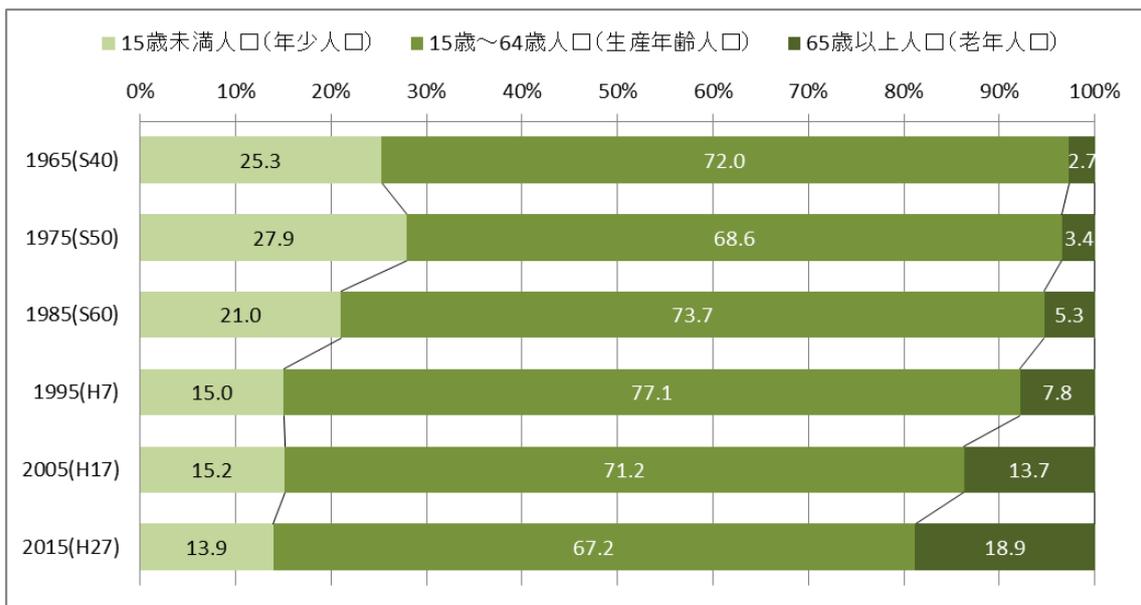
朝霞市の人口構成は、全国・埼玉県と比較すると、0～54歳の比率が高く、55歳以上の比率は低くなっています。

○人口構成比（平成28年1月1日時点、歳階級）



資料：市政情報課、埼玉県統計課「町（丁）字別人口調査」、総務省統計局「人口推計」

○年齢（3区分）別人口割合の推移（朝霞市 昭和40年～平成27年）



資料：国勢調査

## 2.3 平均年齢（埼玉県・近隣市との比較）

朝霞市の平均年齢は、県平均と比べて3歳若く、県内で3番目に若い自治体となっています。

### ○平均年齢（平成28年1月1日時点）

市町村	平均年齢 (歳)	男 (歳)	女 (歳)
埼玉県	45.1	44.0	46.2
戸田市	40.1	39.6	40.6
和光市	40.9	40.2	41.7
<b>朝霞市</b>	<b>42.1</b>	<b>41.3</b>	<b>42.9</b>
志木市	44.2	43.2	45.2
新座市	44.6	43.7	45.6

資料：埼玉県統計課「町（丁）字別人口調査」

### 埼玉県内市町村ランキング

#### ・総人口

順位	市町村	総人口(人)
	埼玉県	7,323,360
1	さいたま市	1,270,476
2	川口市	592,684
3	川越市	350,223
4	所沢市	343,390
5	越谷市	336,565
:		
10	新座市	164,028
:		
<b>16</b>	<b>朝霞市</b>	<b>135,928</b>

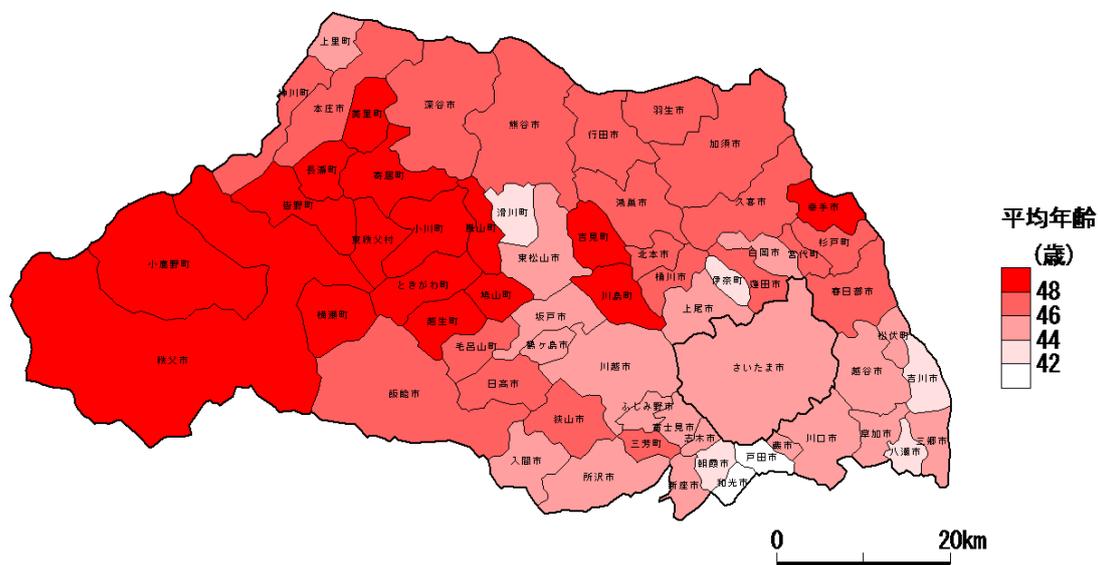
平成28年1月1日現在

資料：埼玉県統計課「町（丁）字別人口調査」

#### ・平均年齢

順位	市町村	平均年齢(歳)
	埼玉県	45.1
1	戸田市	40.1
2	和光市	40.9
<b>3</b>	<b>朝霞市</b>	<b>42.1</b>
4	伊奈町	42.4
5	吉川市	42.6
:		
9	さいたま市	43.9
10	志木市	44.2

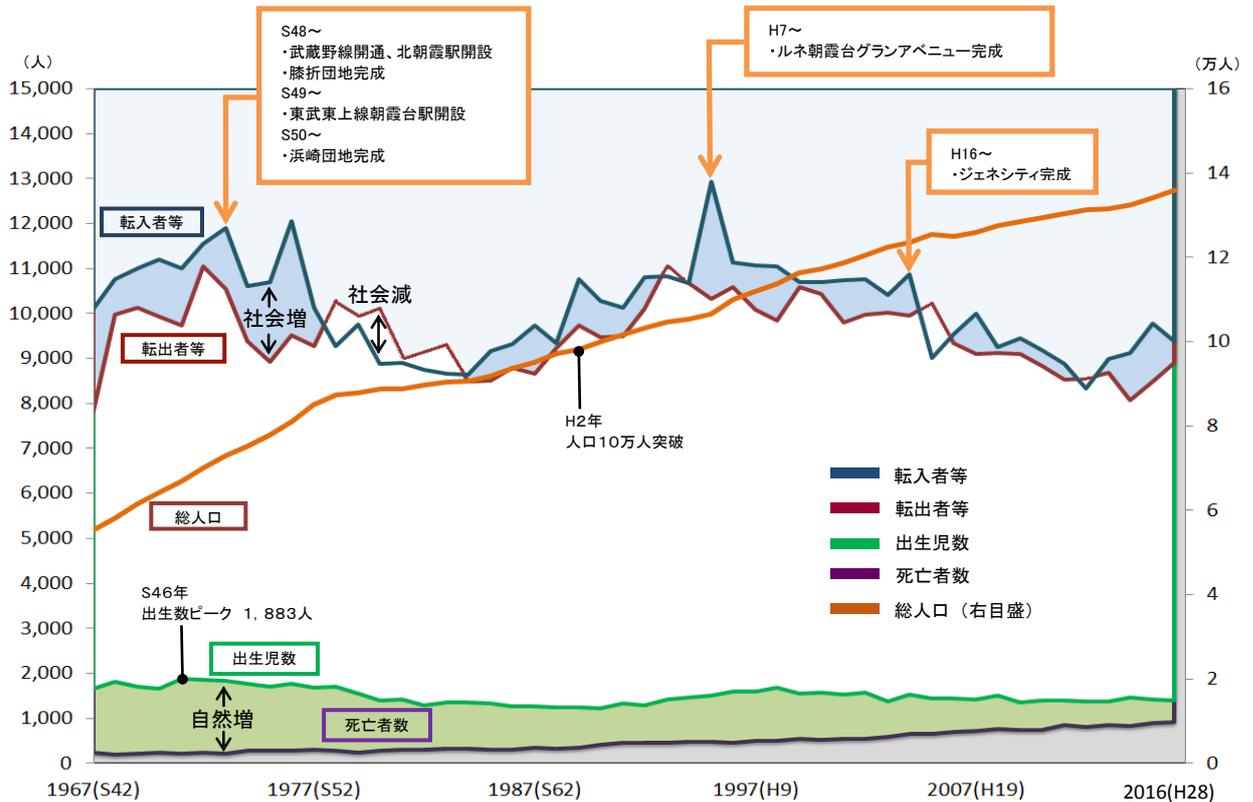
○埼玉県市町村別平均年齢（平成27年10月1日現在）



資料：国勢調査

## 2. 4 人口動態から見る推移

朝霞市は、1970年代からマンションの供給が本格化、転入者・出生児が急増し、大幅な人口増加となりました。以降は転入者は減少し、近年では転入者・転出者いずれも9千人程度で推移しています。



資料：総合窓口課「住民異動月報」



【北朝霞区画整理事業（昭和48年頃）】



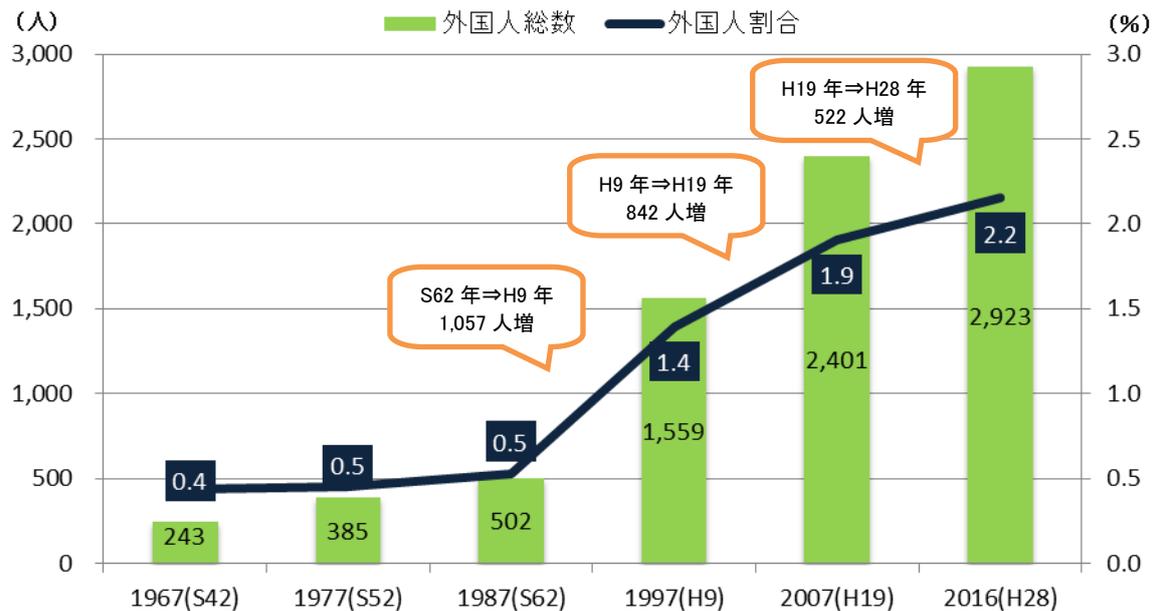
【朝霞駅周辺（昭和50年代）】

## 2.5 外国人の人口

外国人の人口は、平成に入ってから大幅に増加、平成 28 年現在で 2,923 人となっています。

国籍で見ると、中国（1,288 人）が最も多く、次いで韓国・朝鮮（400 人）、フィリピン（292 人）が続いています。

### ○外国人人口と総人口に占める割合



資料：市政情報課

### 埼玉県内市町村ランキング

#### ・在留外国人数

順位	市町村	総人口(人)	順位	市町村	総人口(人)
	埼玉県	139,656			
1	川口市	27,906	11	朝霞市	3,032
2	さいたま市	19,829	12	熊谷市	2,837
3	川越市	6,192	13	八潮市	2,694
4	戸田市	5,710	14	新座市	2,658
5	草加市	5,428	:		
6	越谷市	4,948	22	和光市	2,068
7	蕨市	4,642	:		
8	所沢市	4,526	26	志木市	1,492
9	三郷市	3,317			
10	春日部市	3,135			

平成 27 年 12 月末現在

資料：法務省「在留外国人統計」

## 2.6 合計特殊出生率

合計特殊出生率の推移では、平成15年頃までは低下傾向にありましたが、その後は回復傾向にあります。

○合計特殊出生率の推移（全国・埼玉県との比較）



資料：埼玉県保健医療政策課 「埼玉県の合計特殊出生率」

### 【合計特殊出生率】

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当します。

### 埼玉県内市町村ランキング

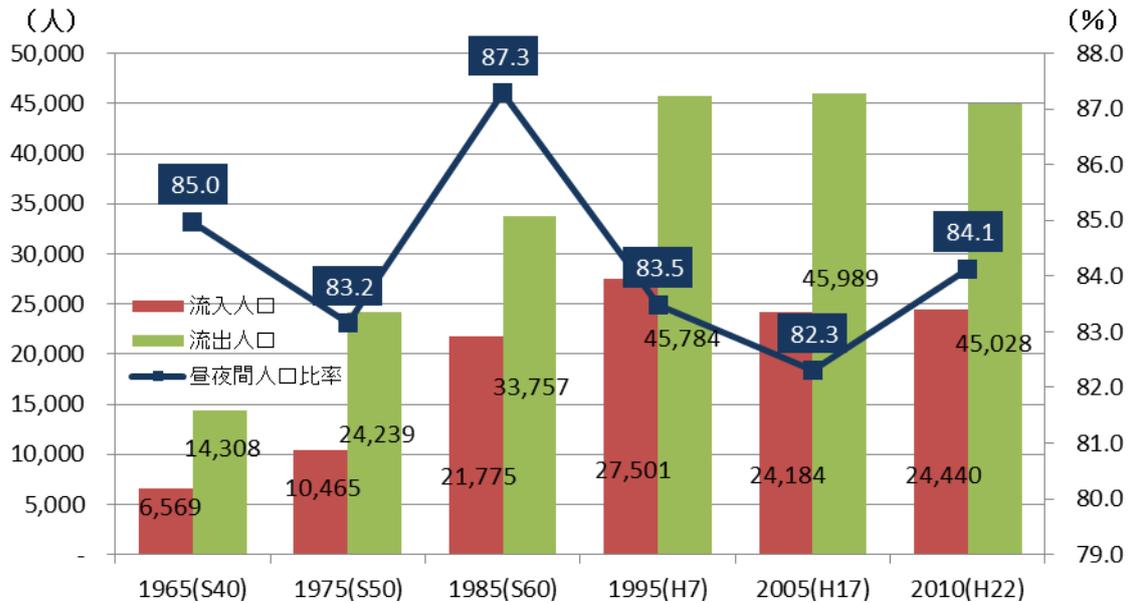
・合計特殊出生率(平成27年)

順位	市町村	合計特殊出生率	順位	市町村	合計特殊出生率
	埼玉県	1.39			
1	滑川町	1.82	11	三郷市	1.50
2	戸田市	1.71	12	川口市	1.50
3	吉川市	1.62	:		
4	八潮市	1.61	16	新座市	1.43
<b>5</b>	<b>朝霞市</b>	<b>1.56</b>	:		
6	伊奈町	1.55	20	和光市	1.42
7	秩父市	1.55			
8	富士見市	1.54			
9	志木市	1.54			
10	ふじみ野市	1.53			

## 2.7 昼間人口

朝霞市の昼間人口は、流出人口（他市町村への通勤通学者）が、朝霞市への流入人口（他市町村からの通勤通学者）を、上回って（流出超過）います。

### ○昼間人口及び夜間人口と昼夜間人口比率の推移



資料：国勢調査

### ○流出人口及び流入人口（上位の市区町村）－平成 22 年国勢調査－

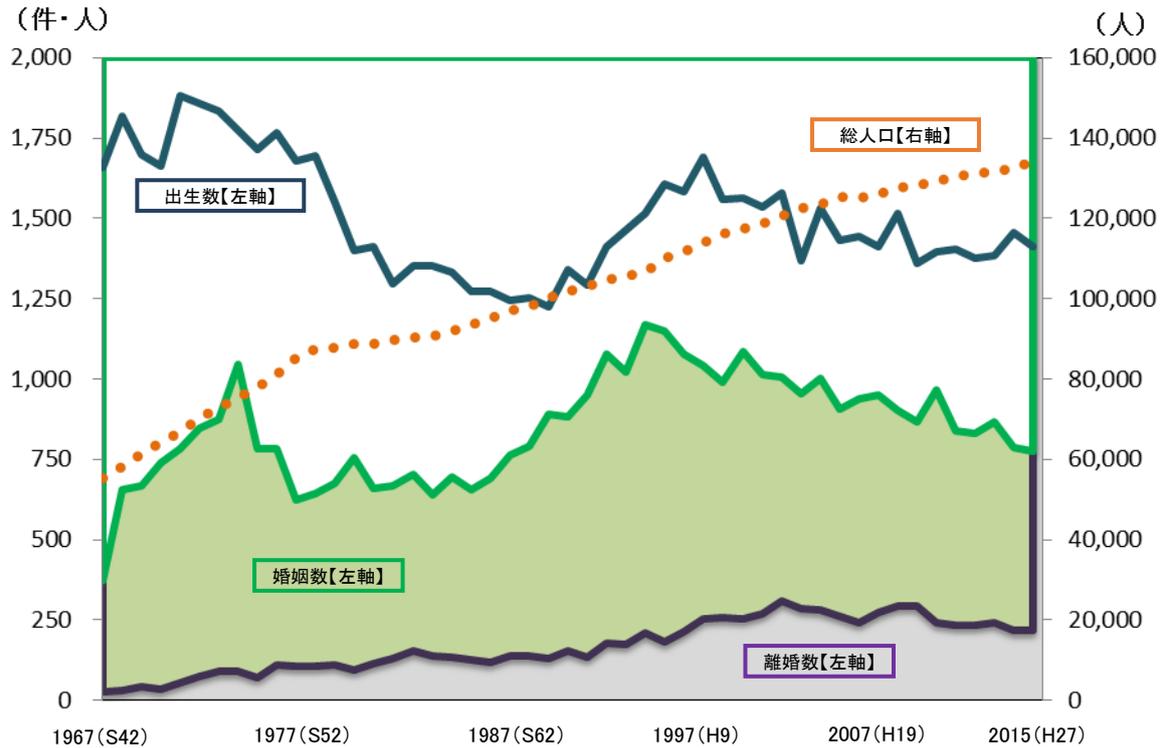
上位	朝霞市に常住している人の 通勤通学地		朝霞市に通勤通学している人の 常住地	
	市区町村名	人口(人)	市区町村名	人口(人)
1	朝霞市	28,591	朝霞市	28,591
2	新座市	3,315	新座市	3,780
3	板橋区	3,314	志木市	2,197
4	豊島区	3,307	川越市	1,671
5	千代田区	3,167	富士見市	1,665
6	新宿区	2,693	和光市	1,449
7	和光市	2,568	ふじみ野市	1,035
8	港区	2,328	練馬区	985
9	練馬区	1,903	板橋区	932
10	中央区	1,836	所沢市	754

## 2.8 婚姻・離婚

婚姻数の推移は、人口とともに増加し、昭和50年に一旦減少しました。平成元年以降再び増加に転じ、その後は横ばいからやや減少しています。出生数の推移と同じ傾向が見られます。

離婚数は、平成14年頃まで増加し続け、以降は横ばいからやや減少しています。

### ○婚姻・離婚数の推移（総人口・出生数との関係）



資料：住民異動月報

### 埼玉県内市町村ランキング

#### ・婚姻率・件数(平成27年)

順位	市町村	婚姻率 (人口千対)	婚姻件数
	埼玉県	4.9	34,757
1	和光市	8.2	650
2	蕨市	6.9	469
3	戸田市	6.8	898
4	八潮市	6.3	529
<b>5</b>	<b>朝霞市</b>	<b>6.3</b>	<b>831</b>
6	川口市	5.9	3,251
7	三郷市	5.4	728
8	志木市	5.4	381
9	さいたま市	5.4	6,692
10	越谷市	5.2	1,730

#### ・離婚率・件数(平成27年)

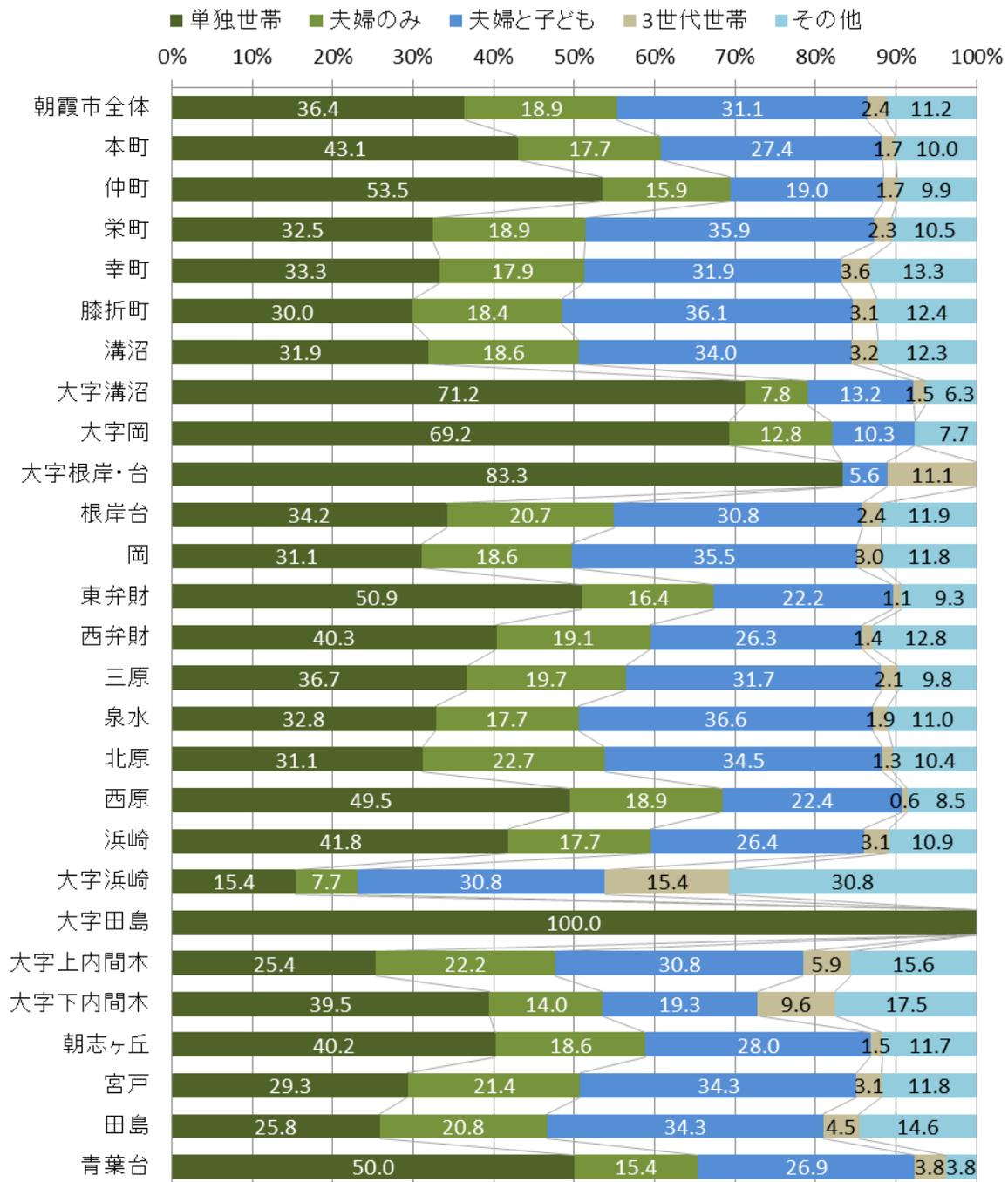
順位	市町村	離婚率 (人口千対)	離婚件数
	埼玉県	1.77	12,667
1	八潮市	2.60	218
2	松伏町	2.52	75
3	川口市	2.21	1,225
4	三郷市	2.19	292
5	戸田市	2.16	284
6	毛呂山町	2.11	78
7	和光市	2.10	166
8	富士見市	2.04	214
	：		
<b>25</b>	<b>朝霞市</b>	<b>1.79</b>	<b>237</b>

## 2.9 世帯

### 2.9.1 世帯類型

世帯類型を地域別に見てみると、駅周辺の地域は、単独世帯の比率が高くなっています。

○地域別世帯の家族類型（平成27年10月1日現在）

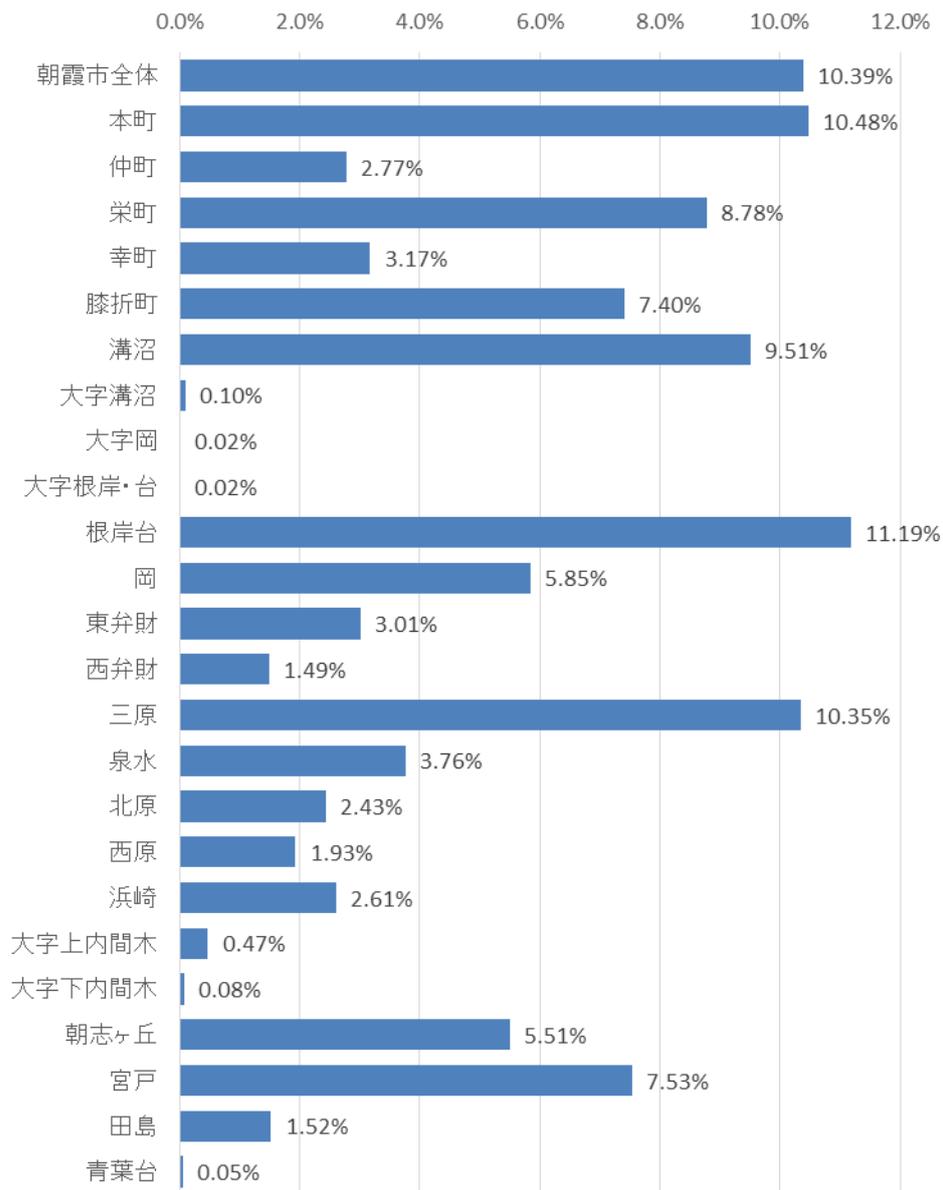


資料：国勢調査

## 2.9.2 世帯の比率（6歳未満の子どもがいる世帯）

6歳未満の子どもがいる世帯の比率が、高い地域と低い地域の二極化されていることが特徴となっています。

○ 6歳未満の子どもがいる世帯の比率（平成27年10月1日現在）

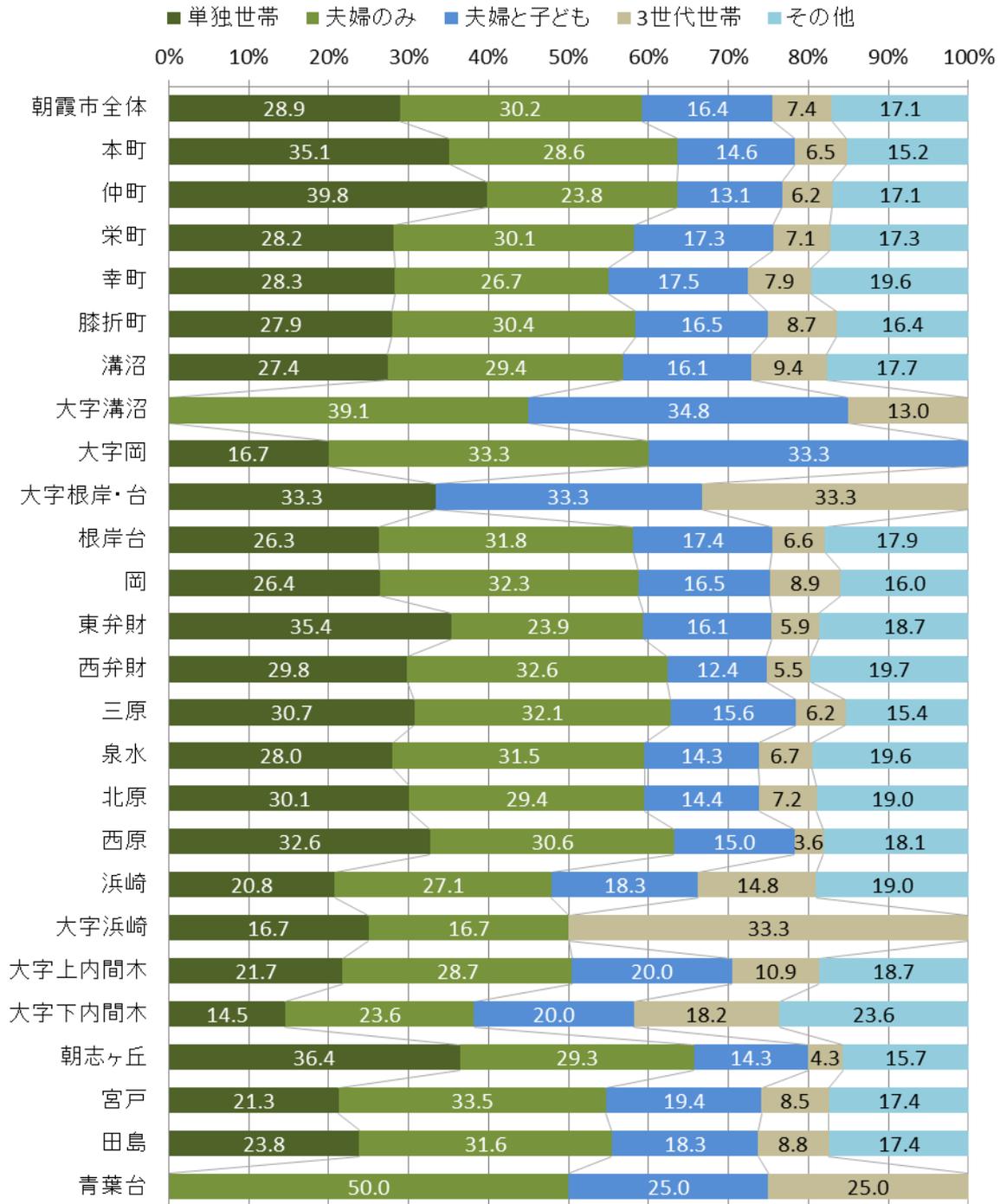


資料：国勢調査

### 2.9.3 世帯の比率（65歳以上の世帯員がいる世帯）

65歳以上の単独世帯及び65歳以上の夫婦のみの世帯の比率が高くなっています。

○ 65歳以上の世帯員がいる世帯の比率（平成27年10月1日）

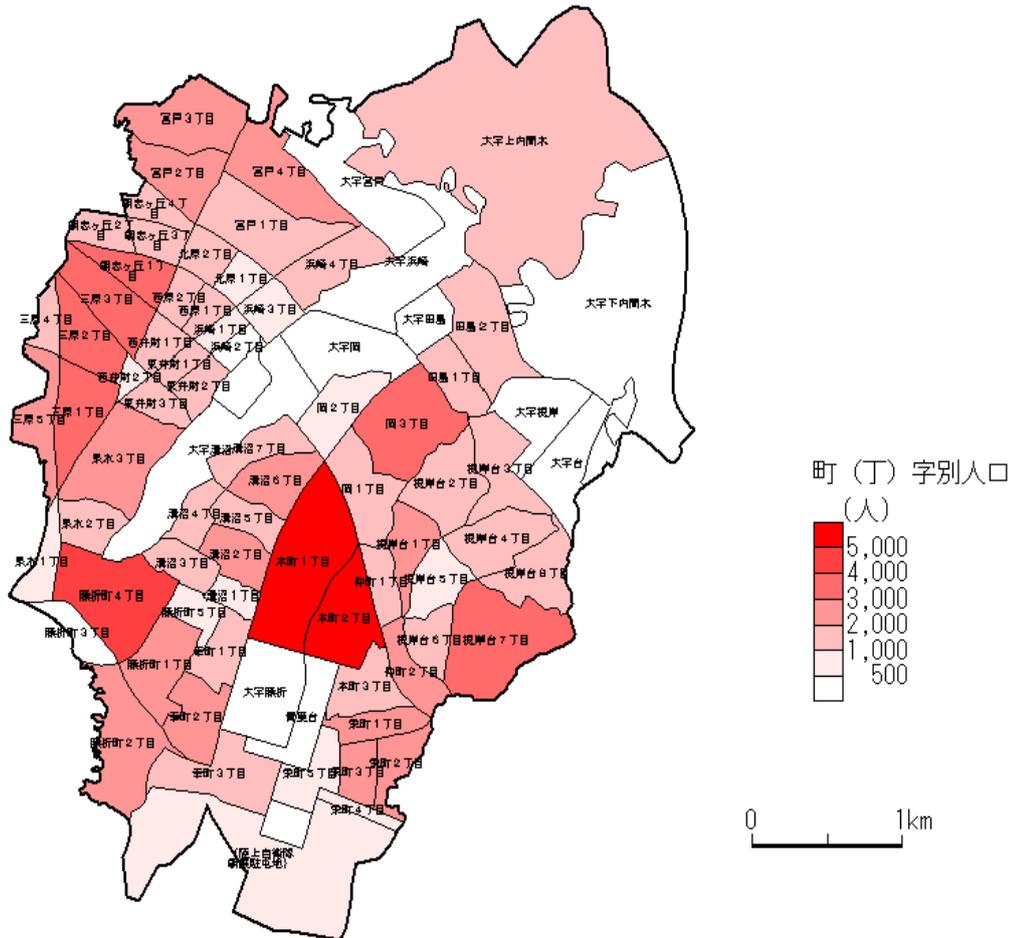


資料：国勢調査

## 2.10 地図でみる地域データ

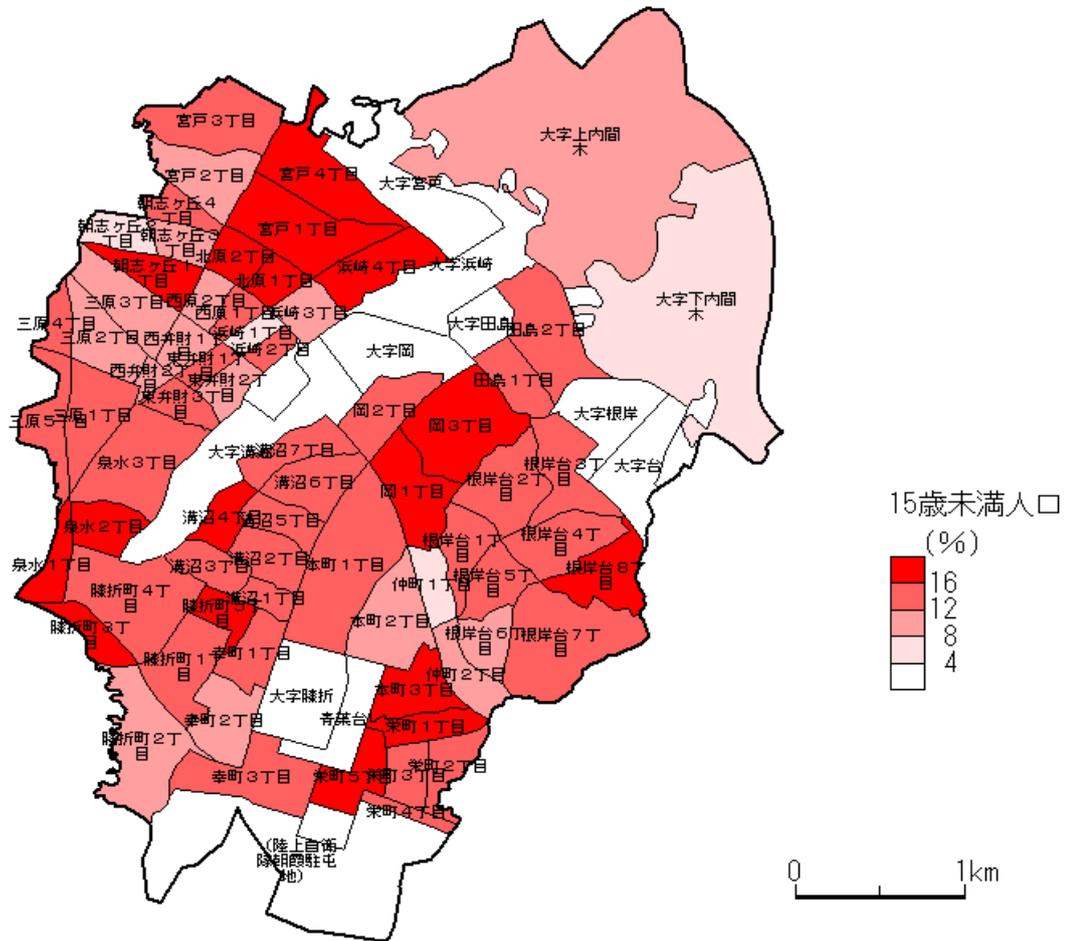
一町（丁）字別人口、年少人口、生産年齢人口、老年人口、平均年齢、持ち家率一

○町（丁）字別人口（平成27年10月1日現在）



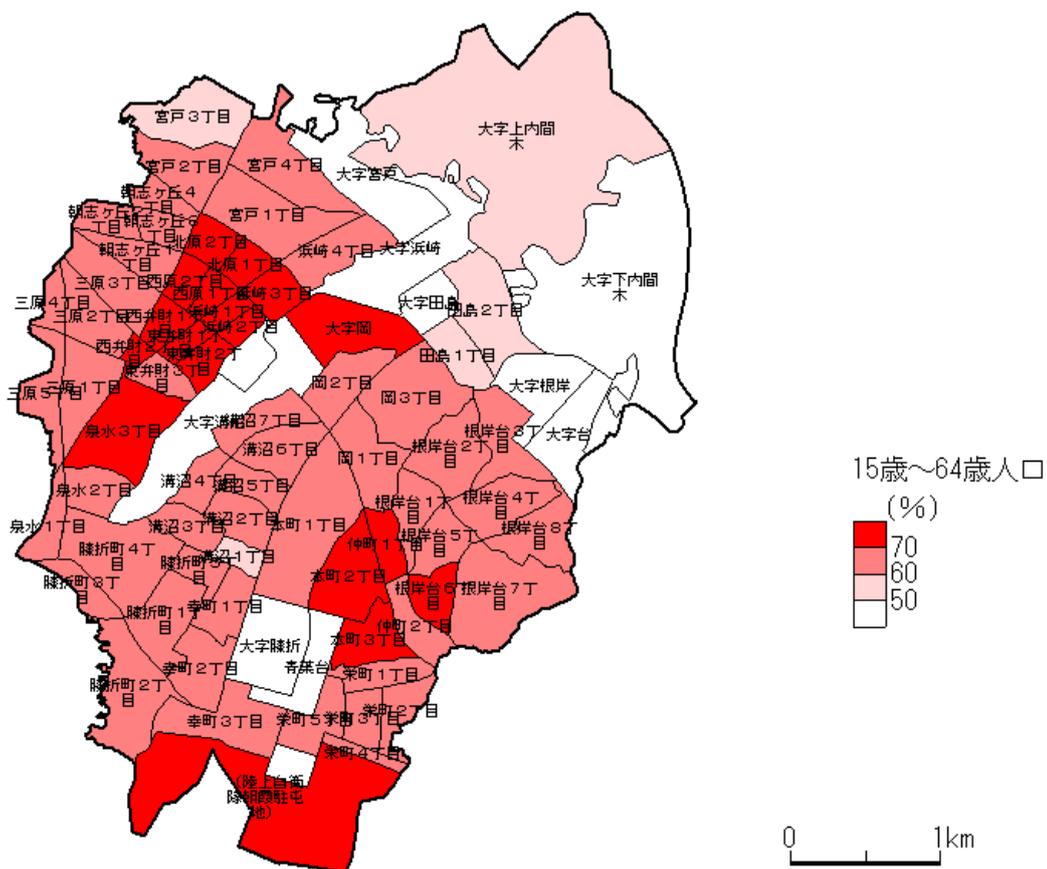
資料：国勢調査

○ 15歳未満人口（年少人口）割合（平成27年10月1日現在）



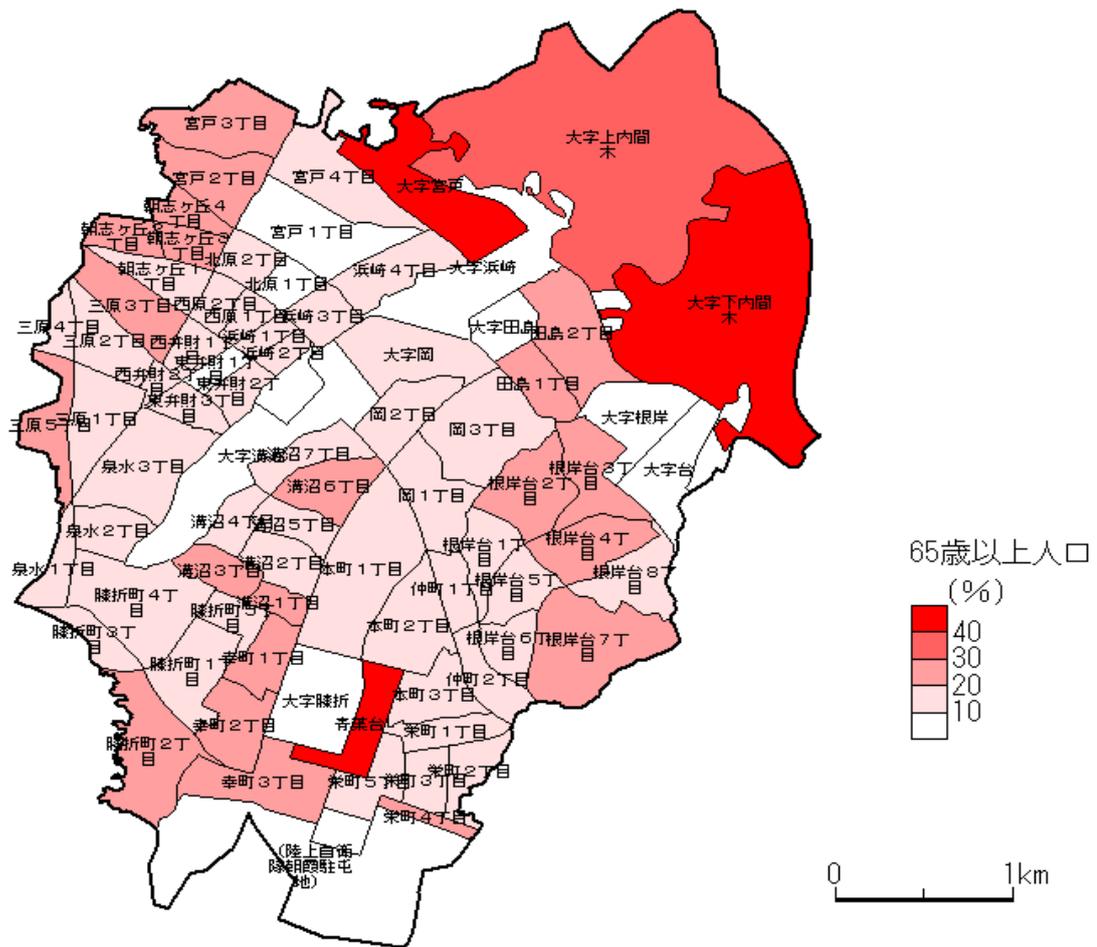
資料：国勢調査

○ 15歳～64歳人口（生産年齢人口）割合（平成27年10月1日現在）



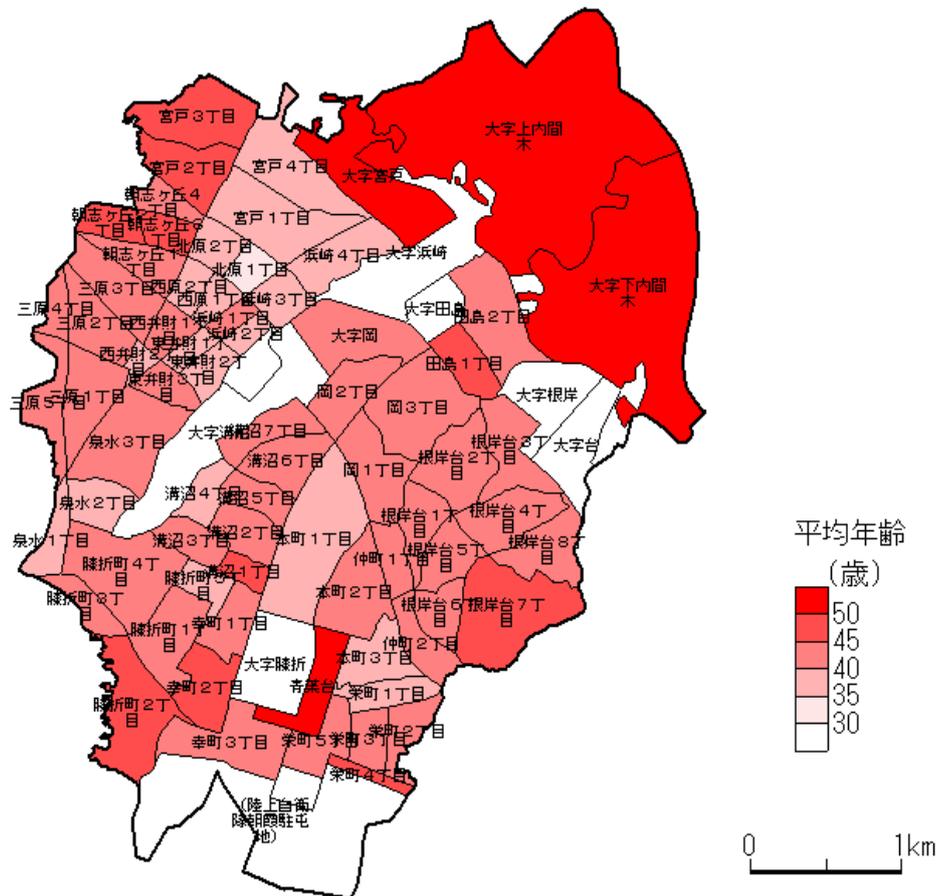
資料：国勢調査

○65歳人口（老年人口）割合（平成27年10月1日現在）



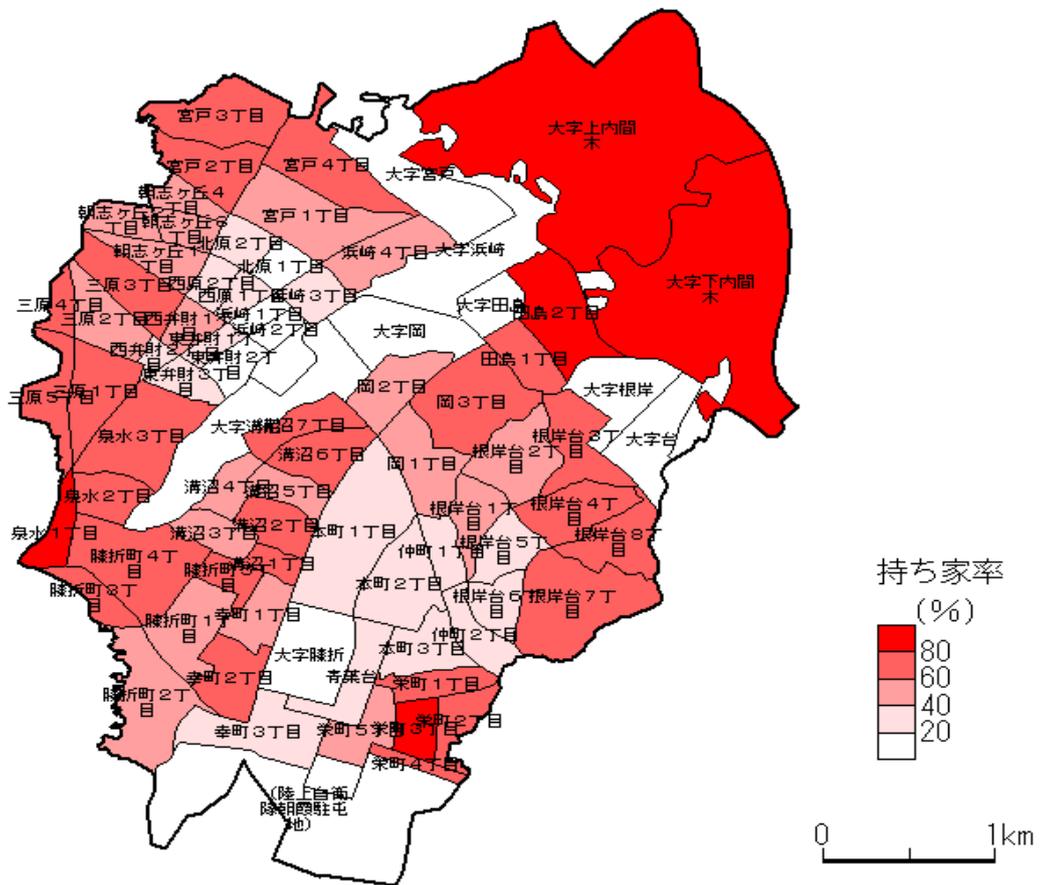
資料：国勢調査

○平均年齢（平成27年10月1日現在）



資料：国勢調査

○持ち家率（平成27年10月1日現在）



資料：国勢調査

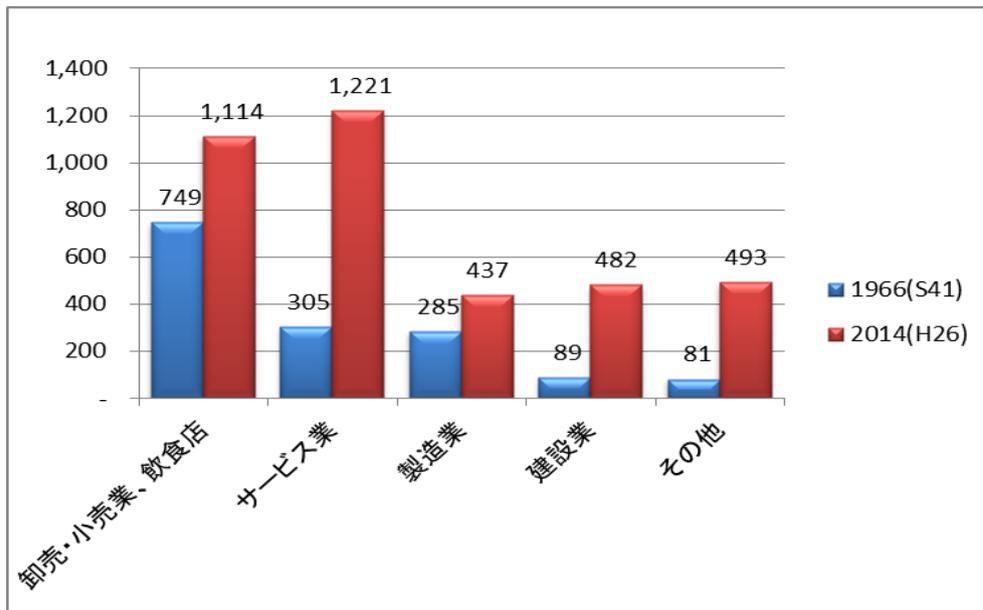
### 3 事業所

#### 3.1 産業別事業所数とその割合の比較

この50年間で事業所の総数は大きく増加しました（1,509 事業所→3,747 事業所）。

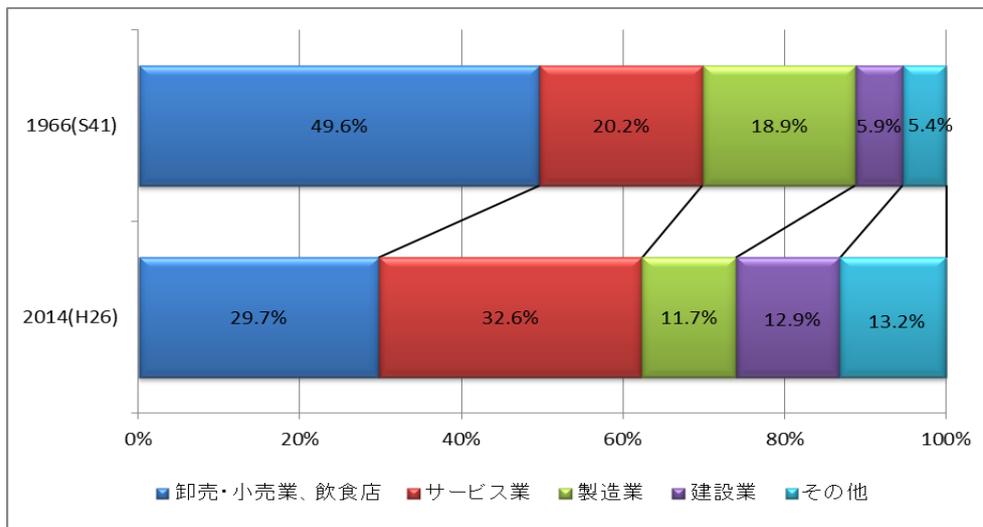
特にサービス業の増加が顕著であり、市内産業構造の変化が見て取れます。割合の比較を見ても、サービス業の割合の増加が目立ちます。

#### ○産業別事業所数の比較（各年7月1日現在）



資料：経済センサス、事業所調査

#### ○産業別事業所数割合の比較（各年7月1日現在）

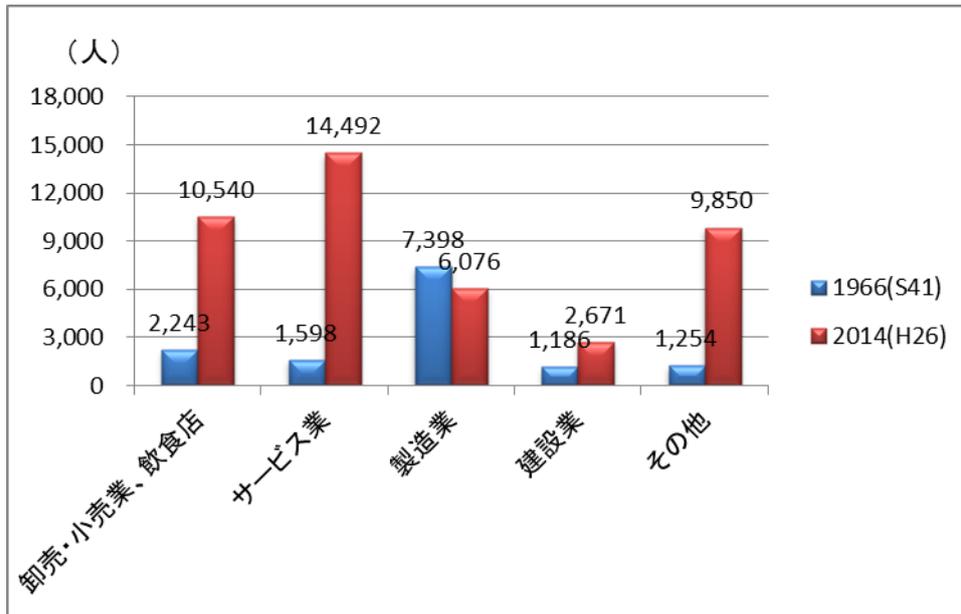


資料：経済センサス、事業所調査

### 3. 2 産業別従業者数とその割合の比較

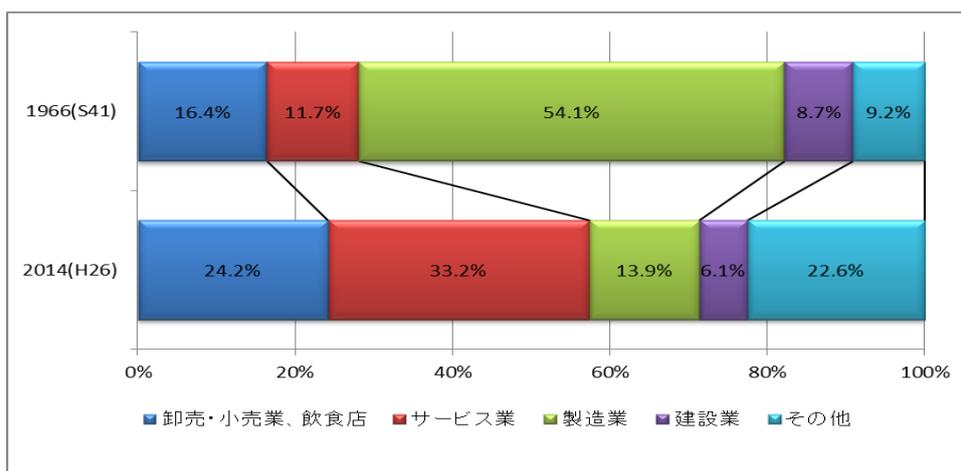
事業所と同様に従業者の総数も大きく増加しました。(13,679人→43,629人)  
 製造業で唯一減少し、サービス業、卸売・小売業、飲食店に加え、その他の産業  
 が大きく増加しており、市内における第3次産業従事者の増加が見て取れます。

○産業別従業者数の比較（各年7月1日現在）



資料：経済センサス、事業所調査

○産業別従業者数の比較（各年7月1日現在）



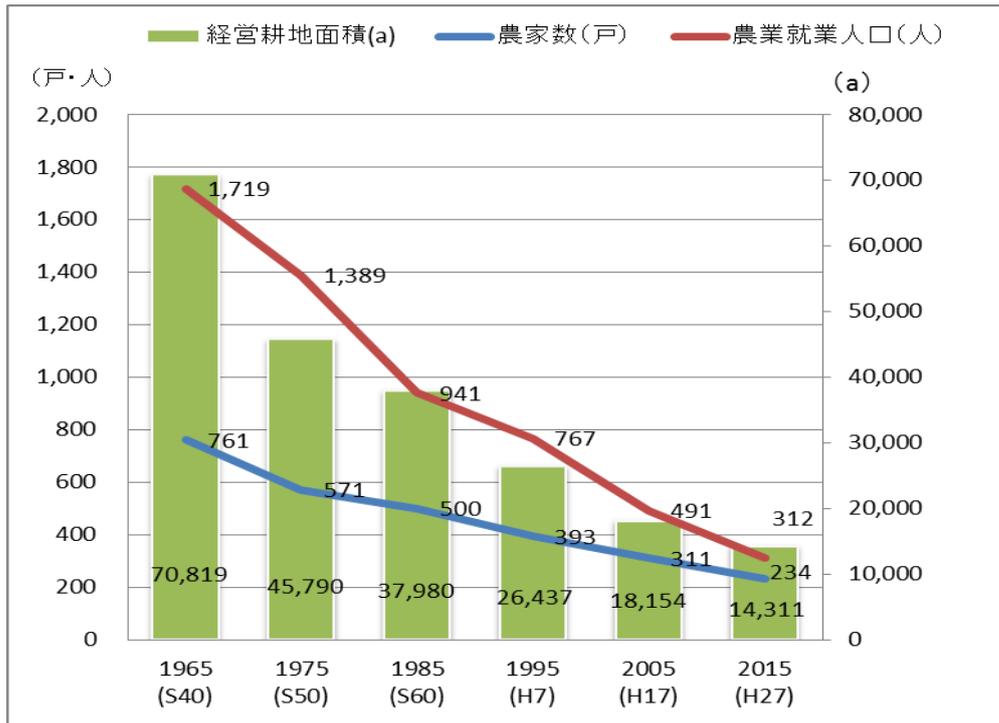
資料：経済センサス、事業所調査

## 4 農業

### 4.1 農家数、農業就業人口、経営耕地面積

1960 (S40) 年と比べ農家数、農家人口、経営耕地面積とも大幅に減少していますが、特に農業就業人口、経営耕地面積は約5分の1に減少しています。

○農家数、農家人口、経営耕地面積の推移（各年2月1日現在）



資料：農林業センサス

○農作業の様子



【昭和41年頃】



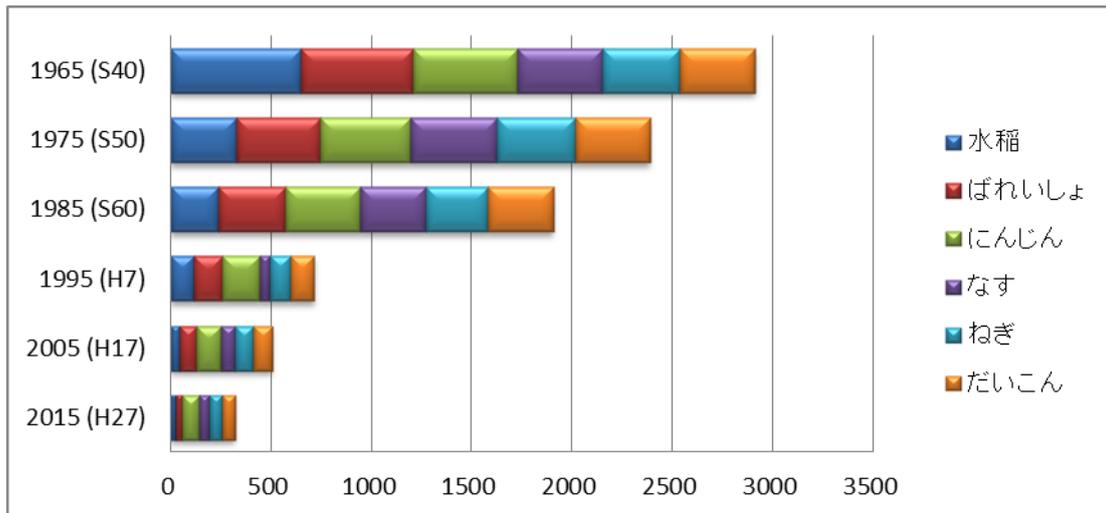
【昭和43年頃】

#### 4.2 農産物別農家数と収穫（作付）面積

朝霞市の農業は、この50年間で大幅に減少しています。特に水稲は、この50年前は600戸ほどあったのが、現在では20戸ほどと約30分の1に激減しています。

一方、にんじん農家は今でも90戸ほどあります。

#### ○主要農産物別の農家数（各年2月1日現在）



資料：農林業センサス

#### 上位5品目の移り変わり

この50年で農作物の収穫（作付）面積が大きく変わり、にんじんがトップになってます。

(各年2月1日現在)

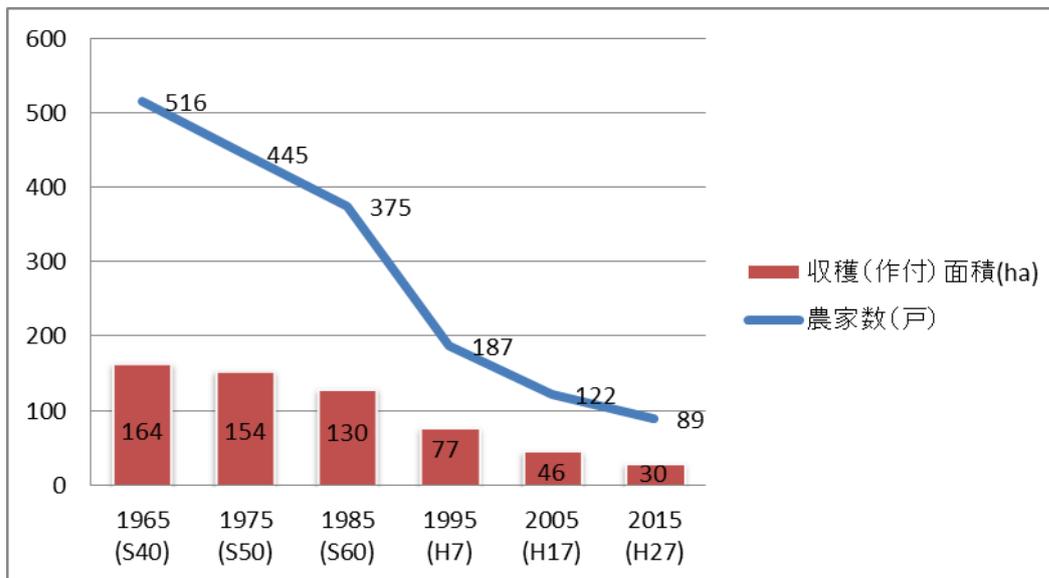
順位	1965 (S40)
1	水稲
2	小麦
3	にんじん
4	ごぼう
5	かんしょ



順位	2015 (H27)
1	にんじん
2	ほうれんそう
3	水稲
4	小麦
5	だいこん

※1965 (S40) 年は収穫面積、2015 (H27) 年は作付面積

〇にんじんの収穫（作付）面積の推移（各年2月1日現在）



資料：農林業センサス

※2005（H17）年以降は作付面積

埼玉県内各市ランキング

・にんじん作付面積－2015（H27）年2月1日現在－

順位	市町村	作付面積(a)
1	所 沢 市	7,822
2	熊 谷 市	5,709
3	新 座 市	3,518
4	朝 霞 市	3,038
5	川 越 市	2,779

にんじんの作付面積は、埼玉県内の各市の中でも4番目に多い作付面積を誇り、県内でも有数のにんじんの産地です。

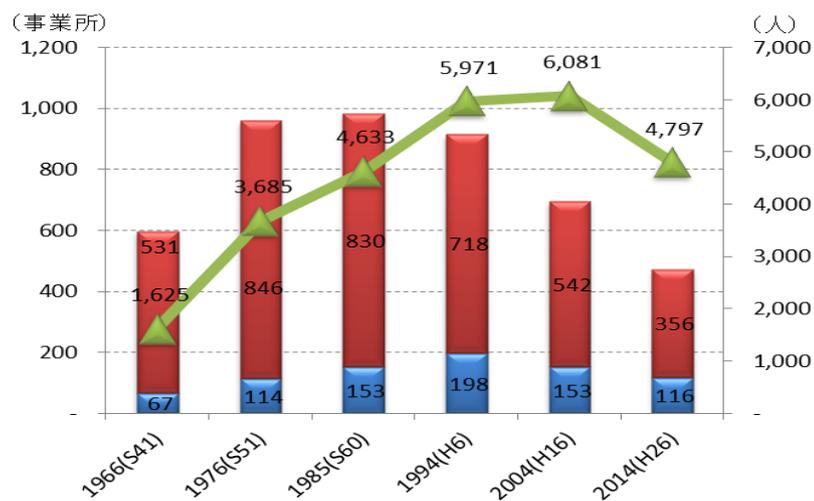
## 5 商業

### 5.1 商業の推移

事業所数は昭和60年にピークを迎え、平成6年以降は減少傾向にあります。中でも、従業者数1～9人規模の事業所数は大幅に減少しています。従業者数についても平成16年から平成26年にかけて大幅に減少しました。

#### ○商業事業所数と商業事業所の従業者数の推移（飲食店を除く）

■ 卸売業事業所数(左軸) ■ 小売業事業所数(左軸) ▲ 従業者数(右軸)

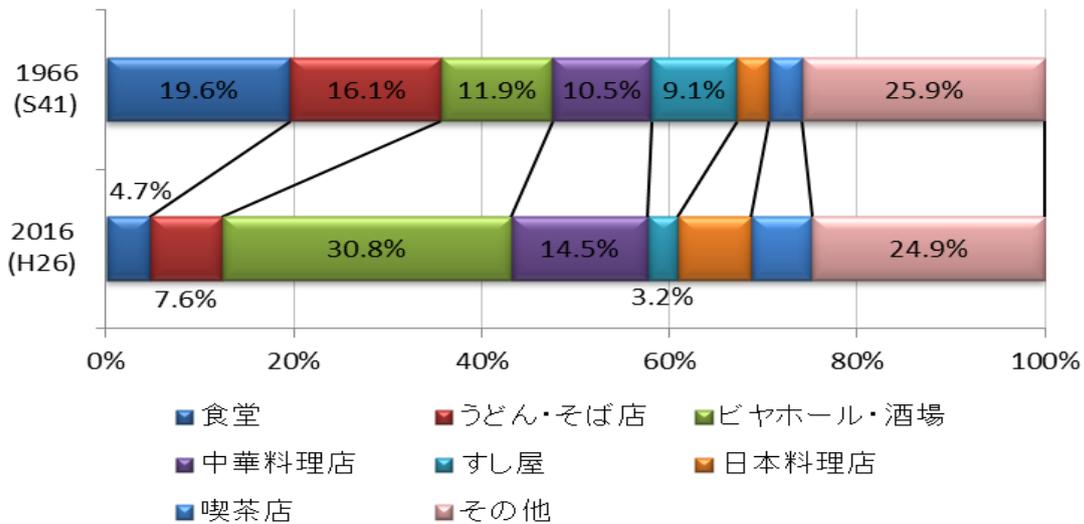


資料：経済センサス、商業統計調査、事業所調査

## 5.2 業種別飲食店数の比較

50年前と比較し、飲食店数は大きく増加しています。(143→406)  
業種別の割合で特徴的なのは、ビヤホール・酒場の割合が大きく増加していること  
で、理由としては従来からの個人経営の酒場に加え、大手チェーンの展開する  
居酒屋が増加していることが考えられます。

(各年7月1日現在)



資料：経済センサス、商業統計調査、事業所調査

### 商店数上位3分類の移り変わり

卸売業では建築材料が変わらず1位で変わりありませんでしたが、平成26年の  
小売業に、医薬品・化粧品が入っているのが特徴的でした。

1966 (S41)

卸売業

順位	分類	事業所数
1	建築材料	23
2	鉱物金属材料	19
3	食料飲料	8

2014 (H26)

卸売業

順位	分類	事業所数
1	建築材料	16
2	産業機械器具	12
3	農畜産物・水産物	11

小売業

順位	分類	事業所数
1	菓子・パン	86
2	牛乳・料理品・茶・その他	45
3	野菜・果実	33

小売業

順位	分類	事業所数
1	その他飲食料品	61
2	医薬品・化粧品	43
3	菓子・パン	36

資料：経済センサス、商業統計

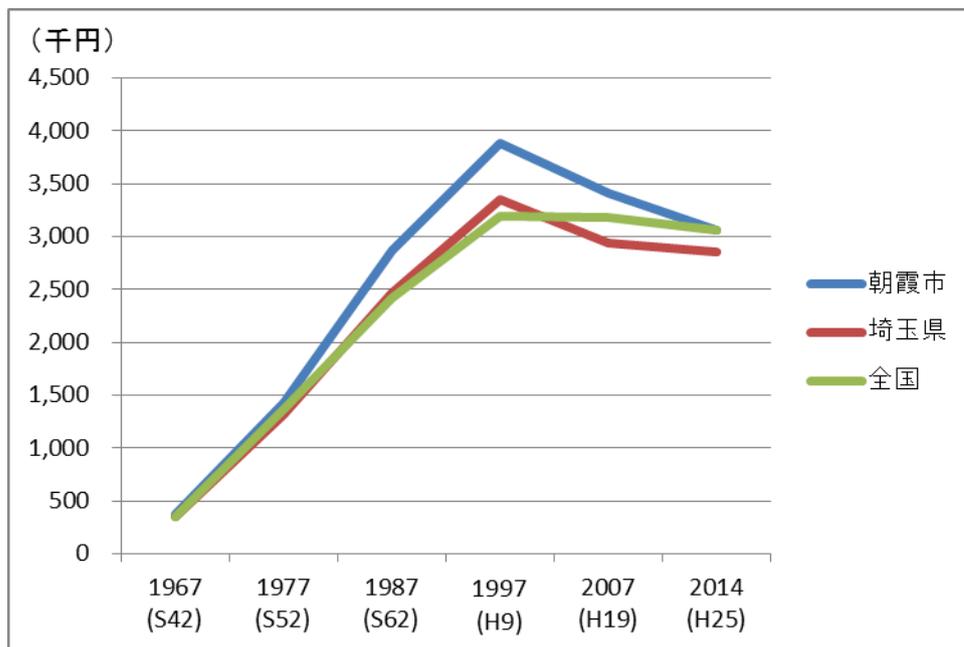
## 6 市民生活

### 6.1 市民所得

1人当たりの市民所得は、企業も含めた市町村の経済全体の所得水準を表すものです。

朝霞市の1人当たりの市民所得は、県平均を上回っております。埼玉県内の各市の比較でも2014(平成25)年で5番目に高い水準となっております。

#### ○ 1人当たり市民所得の推移



資料：埼玉の市町村民経済計算、県民経済計算

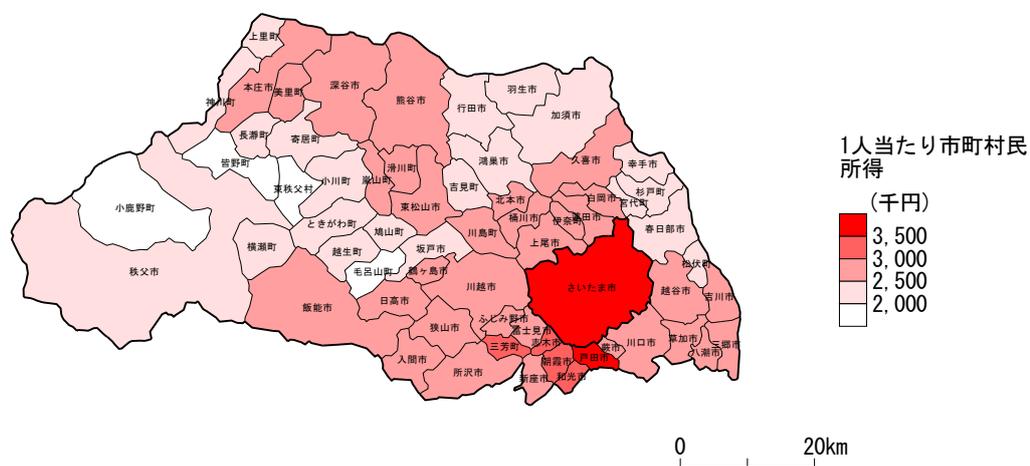
#### 埼玉県内各市ランキング

・ 1人当たり市民所得—平成25年度—

順位	市名	1人当たり市民所得(千円)	順位	市名	1人当たり市民所得(千円)
1	戸田市	3,760	6	蕨市	2,973
2	さいたま市	3,598	7	所沢市	2,926
3	和光市	3,323	8	川越市	2,890
4	志木市	3,076	9	熊谷市	2,862
5	<b>朝霞市</b>	<b>3,057</b>	10	川口市	2,860

資料：埼玉の市町村民経済計算

○埼玉県市町村別 1人当たり市町村所得—平成25年度—



資料：埼玉の市町村経済計算

○商店街の様子



【朝霞駅前商店街】



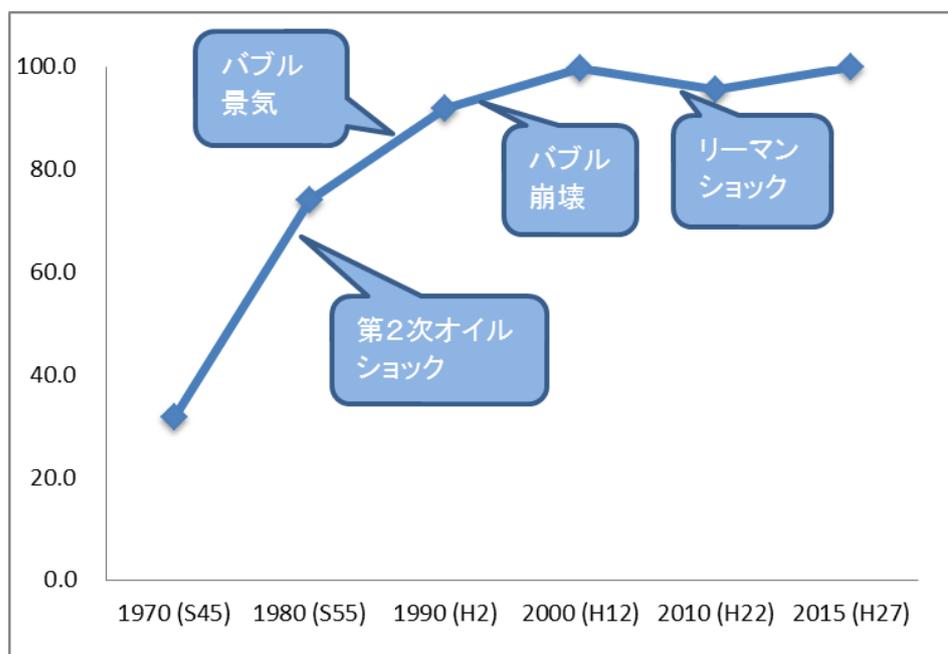
【えびす商店街】

## 6. 2 消費者物価指数

さいたま市の物価動向を見ると、1970年から1980年にかけての2回のオイルショックの余波を受けて、物価は大幅に上昇しました。その後バブル景気でも物価は上昇しましたが、バブル崩壊後は、物価の上昇幅は緩やかになりました。その後、リーマンショックを契機とする国際金融危機に伴う景気落ち込みにより、物価は下落しました。

2000年以降、物価は大きな変動はなく、概ね横ばいで推移しています。

### ○さいたま市の消費者物価指数（2015年基準）



資料：2015年基準消費者物価指数

### 都道府県ランキング

#### ○消費者物価指数－平成25年－

順位	都道府県	指数	順位	都道府県	指数
1	東京都	105.2	8	和歌山県	100.0
2	神奈川県	103.9	⋮		
3	埼玉県	101.4	44	岐阜県	97.0
4	兵庫県	100.9	44	福岡県	97.0
5	京都府	100.7	46	群馬県	96.9
6	山形県	100.6	47	宮崎県	96.1
7	大阪府	100.2			

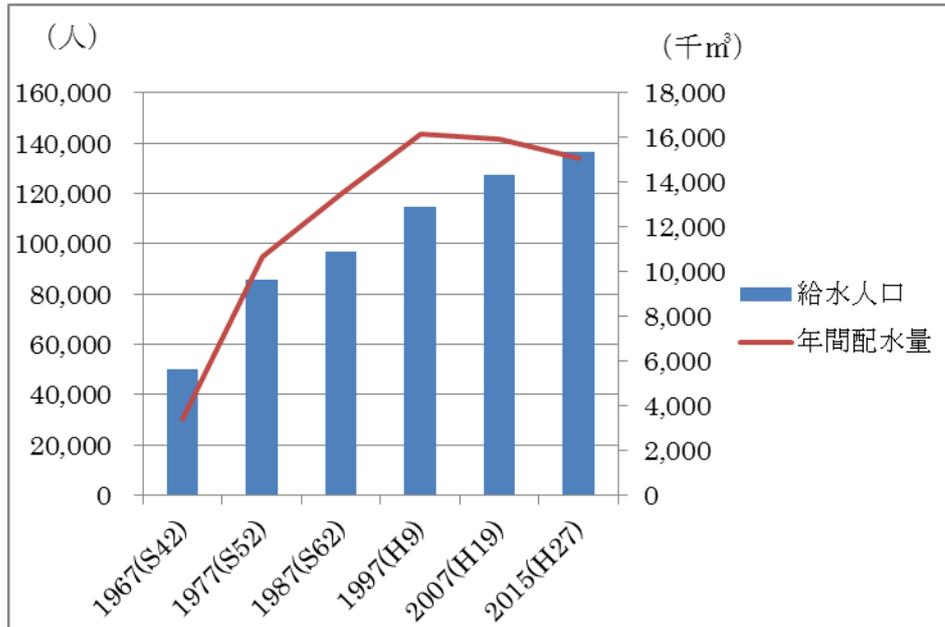
資料：2015年基準消費者物価指数

### 6.3 水道、ガス

給水人口は、人口と同様増加している一方で、年間配水量は、節水意識の定着や節水器具の普及等で減少傾向にあります。

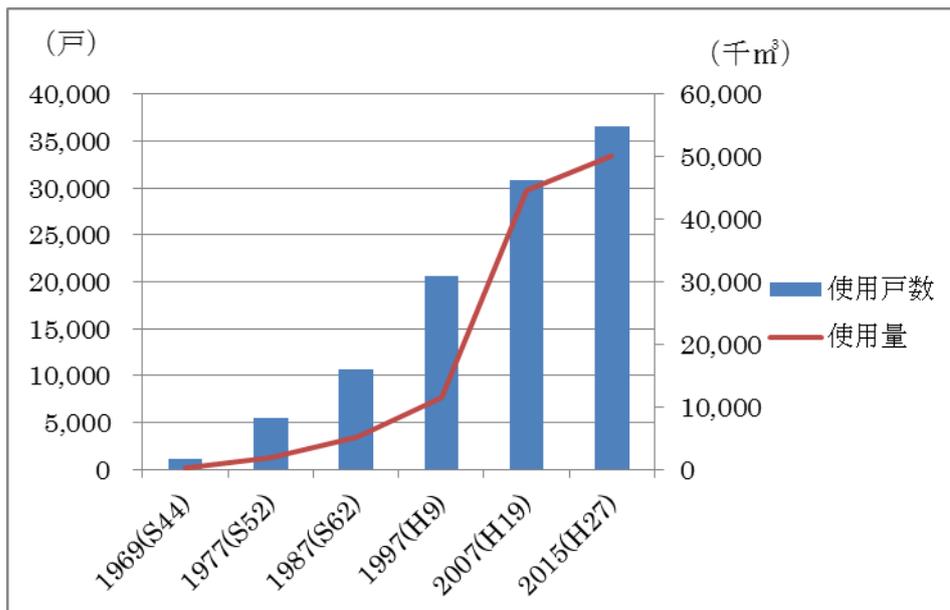
また、都市ガスの使用戸数、使用量とも右肩上がりに上昇しています。

#### ○給水人口と年間配水量



資料：水道経営課

#### ○都市ガスの使用状況



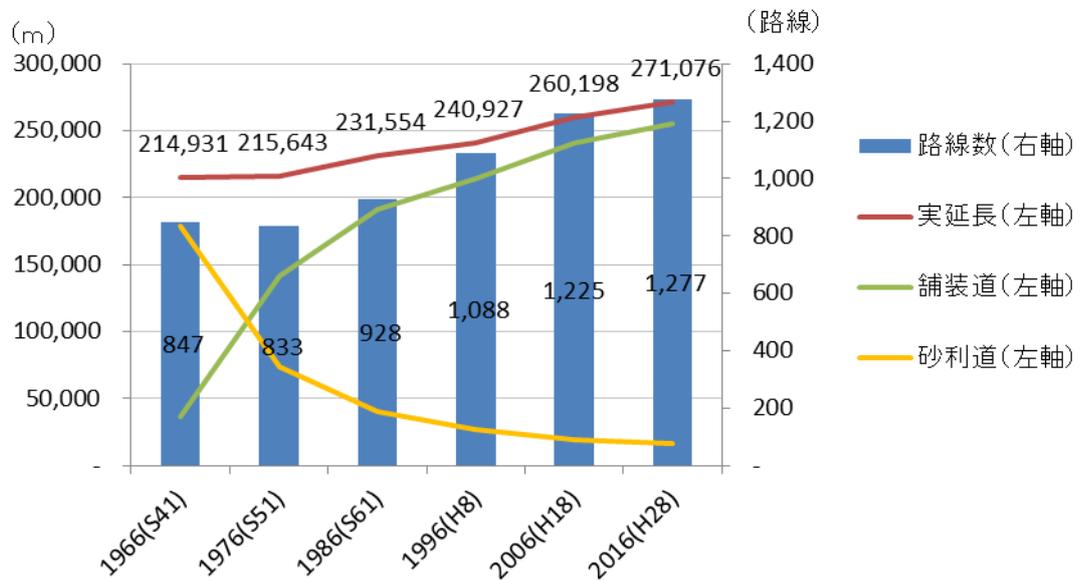
資料：大東ガス(株)志木営業所

# 7 道路

## 7.1 道路の状況

路線数の増加とともに実延長も増加しています。  
50年前と比べ、砂利道が減り、舗装道が増加していることから、市内道路交通網の整備が着実に進行していると言えます。

### ○道路の状況



資料：道路整備課

### ○朝霞の道路の様子



【朝霞警察から見た川越街道、旧川越街道】



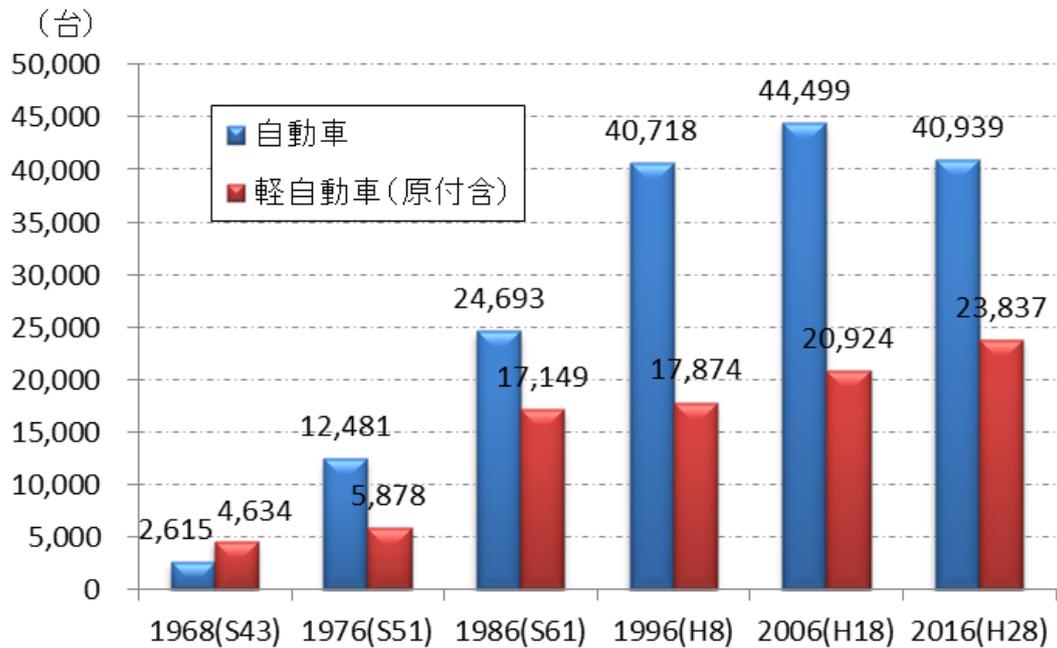
【北朝霞陸橋の開通式】

## 8 運輸・通信

### 8.1 自動車登録台数の推移

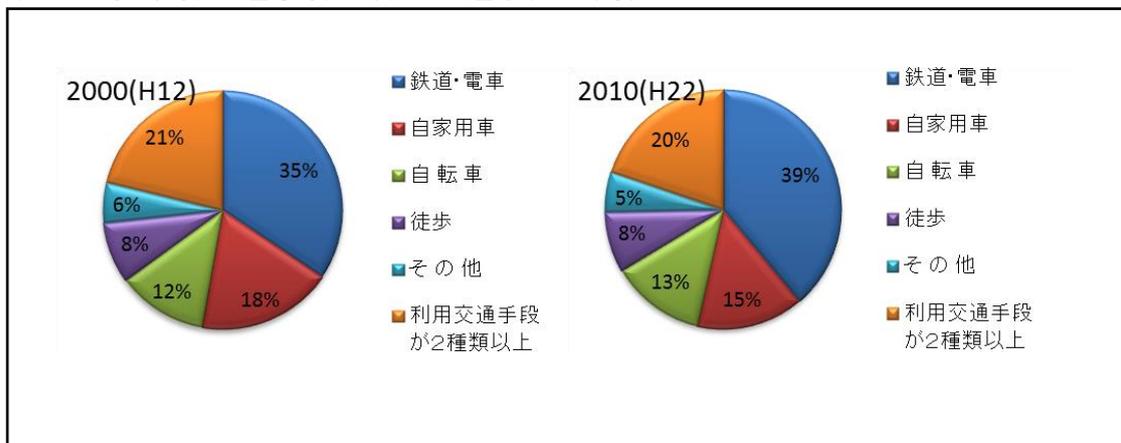
自動車登録台数は増加を続けていましたが、平成18年から平成28年では微減となっています。

#### ○自動車登録台数の推移



資料：関東運輸局 HP

#### ○自宅外就業者・通学者の利用交通手段の割合

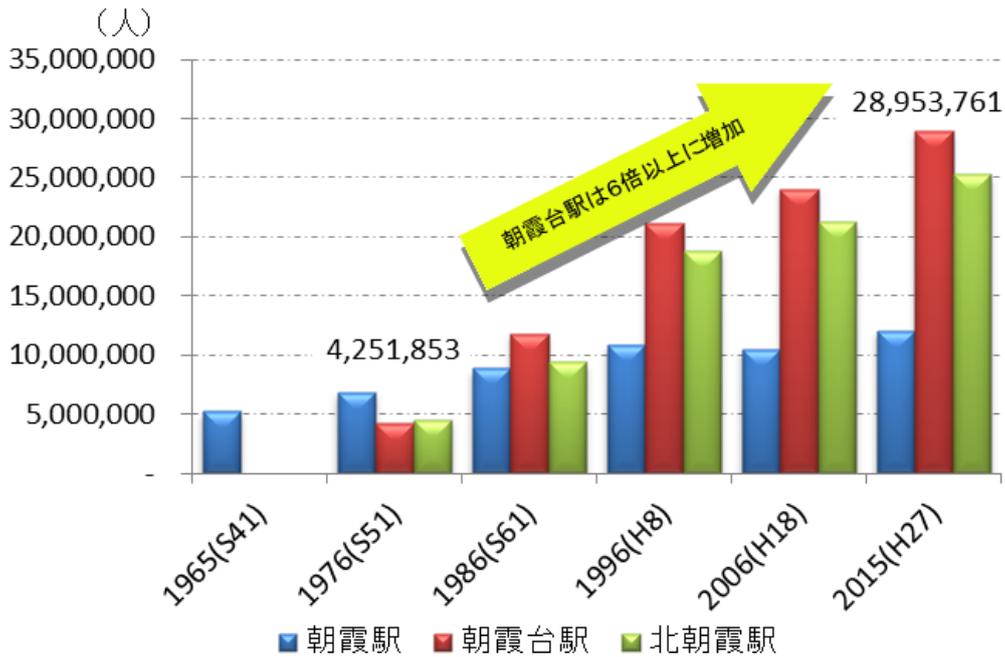


資料：国勢調査

## 8. 2 市内3駅乗車数の推移

人口の増加とともに駅の利用者数も増加しています。

東武東上線の地下鉄乗り入れ等による利便性の向上により、通勤通学者を中心に利用者が増加したものと考えられます。また、朝霞台駅が埼玉県内で5番目に乗車数の多い駅となっています。



資料：東武鉄道(株) (朝霞駅及び朝霞台駅)、北朝霞駅 (JR 東日本)

### 埼玉県内ランキング

○駅乗車人員－2014 (H26) 年－

順位	駅	乗車数(人)	順位	駅	乗車数(人)
1	大宮(JR)	89,262,962	7	南越谷	25,906,383
2	浦和(JR)	30,924,783	8	北朝霞(JR)	24,444,877
3	和光市(東武)	29,602,483	9	大宮(東武)	-
4	川口(JR)	29,442,239	10	川越(東武)	23,012,532
5	朝霞台(東武)	28,058,537	：	：	：
6	新越谷	26,004,963	26	朝霞(東武)	11,696,546

資料：東武鉄道(株) (朝霞駅及び朝霞台駅)、北朝霞駅 (JR 東日本)

## ○朝霞駅、朝霞台駅、北朝霞駅ヒストリー

### 朝霞駅



【昭和42年頃】



【現在】

### 朝霞台駅



【昭和50年頃】



【現在】

### 北朝霞駅



【昭和48年北朝霞駅開駅】



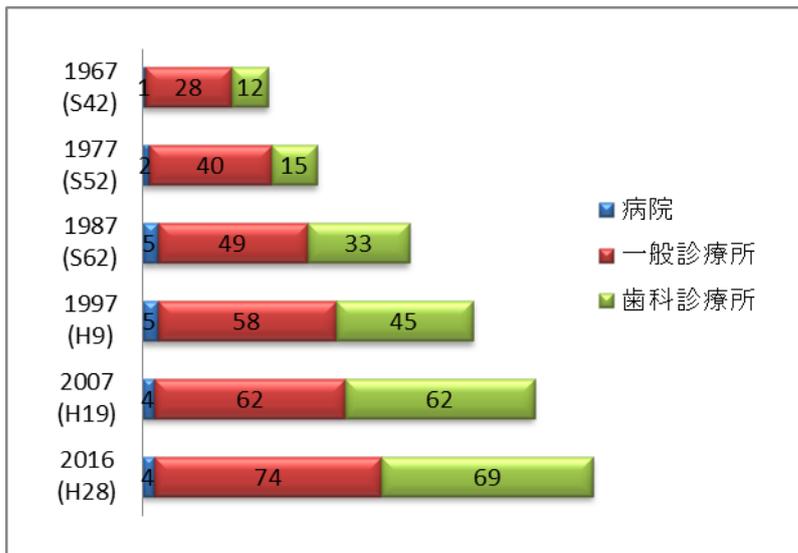
【現在】

## 9 保健・衛生

### 9.1 医療施設・病床数

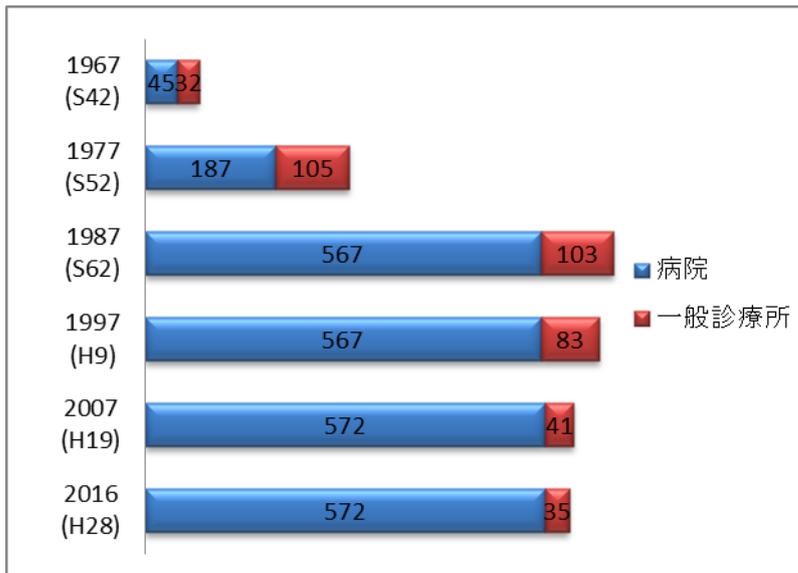
50年前と比較して、一般診療所は約3倍弱、歯科診療所は約6倍に増えています。病床数は、30年前から一般診療所が減ってきていますが、ほぼ横ばいとなっています。

#### ○医療施設数



資料：朝霞保健所

#### ○病床数

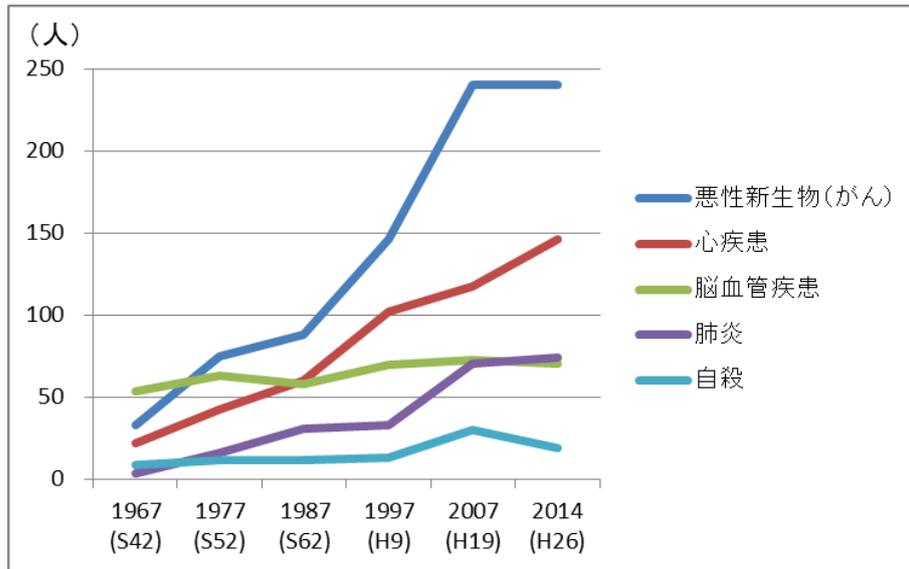


資料：朝霞保健所

## 9.2 主要死因別死亡者数

50年前と比べ、悪性新生物（がん）での死亡者数が約5倍に増加しています。また心疾患での死亡者数も大幅に増加しています。一方、脳血管疾患は、ほぼ横ばいで推移しています。

### ○主要死因別死亡者数



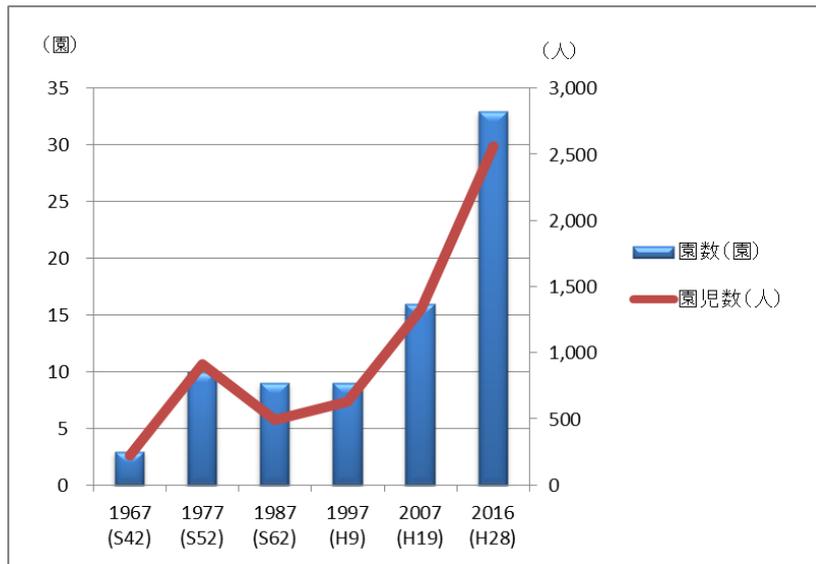
資料：健康づくり課

# 10 教育・文化

## 10.1 保育園・幼稚園

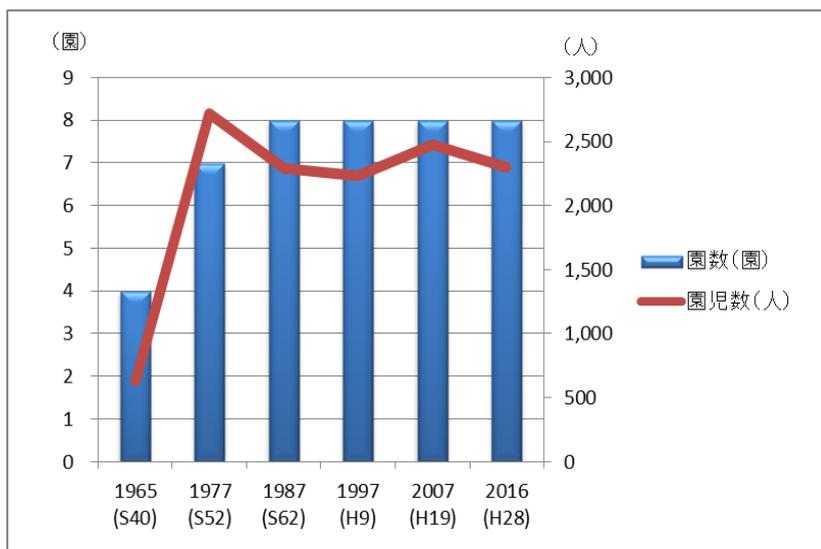
保育園数は50年間で約10倍に、園児数は約12倍に増えてます。幼稚園数は1978(S53)年に8園になって以降、増えておらず、園児数は1960年代の第2次ベビーブームで増加しましたが、1980年代に入るとほぼ横ばいとなっています。

### ○保育園



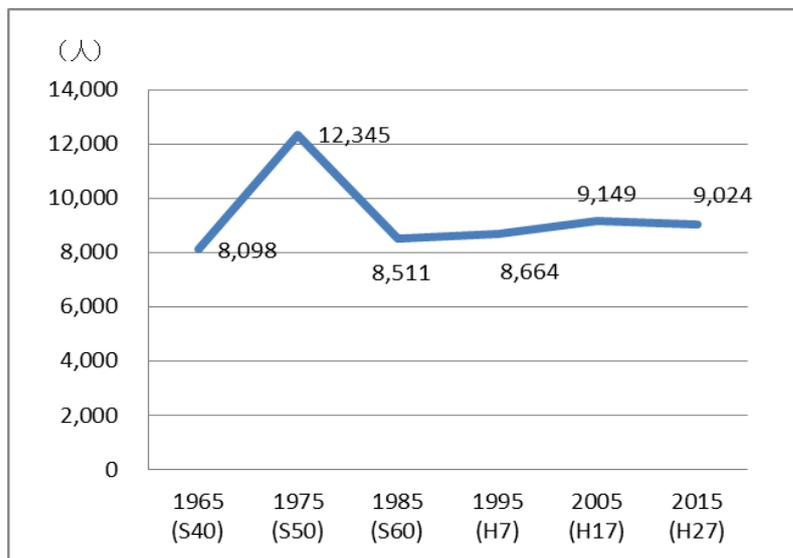
資料：保育課

### ○幼稚園



資料：学校基本調査

## 〇〇～6歳人口の推移



資料：国勢調査

## 待機児童

1960年代～1970年代にかけての第2次ベビーブームにより保育所不足が各地で起こりました。1980年代に入ると、保育所不足はいったん沈静化しましたが、1990年代後半から都心部を中心に再び待機児童が増加しました。

理由としては、都心部への人口集中が主な原因ですが、女性就業者数の増加に伴い、共働き家庭の増加等で家庭環境が大きく変化したため、保育所の増設や受け入れ数の増加が遅れたことも原因の一部となっています。

朝霞市の待機児童数は、2011年の116人をピークに2016年には、79人と約31.8%減少しています。

### 埼玉県内市町村ランキング

#### 〇待機児童数

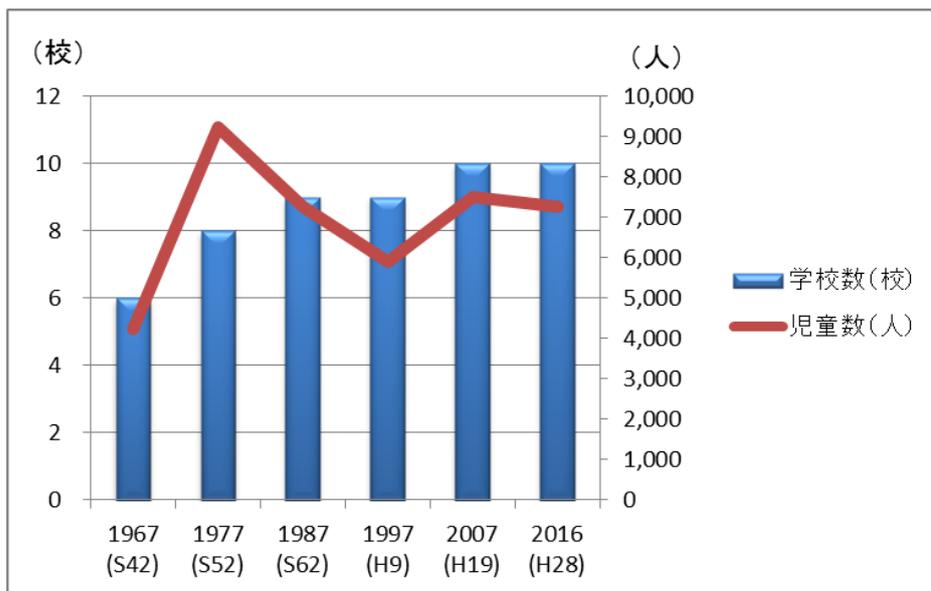
順位	市町村	待機児童数	順位	市町村	待機児童数
1	戸田市	106	6	狭山市	69
2	川口市	98	7	川越市	67
3	朝霞市	79	8	三郷市	46
4	草加市	77	9	越谷市	38
5	新座市	70	9	東松山市	38

資料：埼玉県 HP

## 10.2 小学校・中学校

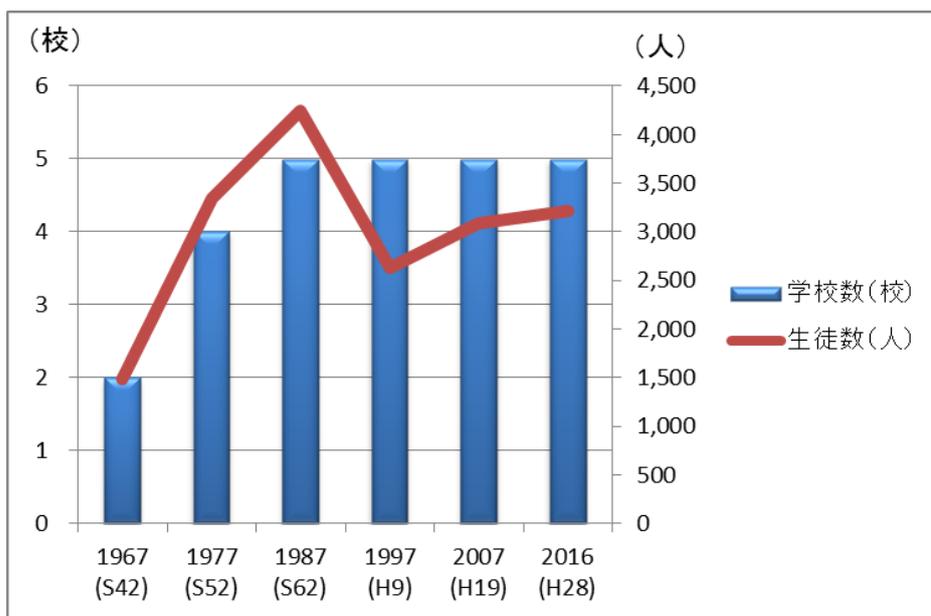
1960年代から1970年代の第2次ベビーブームで児童数は大幅に増加しましたが、それ以降はほぼ横ばいとなっており、0～6歳人口も横ばいであることから、しばらくはこの傾向が続くものと想定されます。

### ○小学校



資料：学校基本調査

### ○中学校

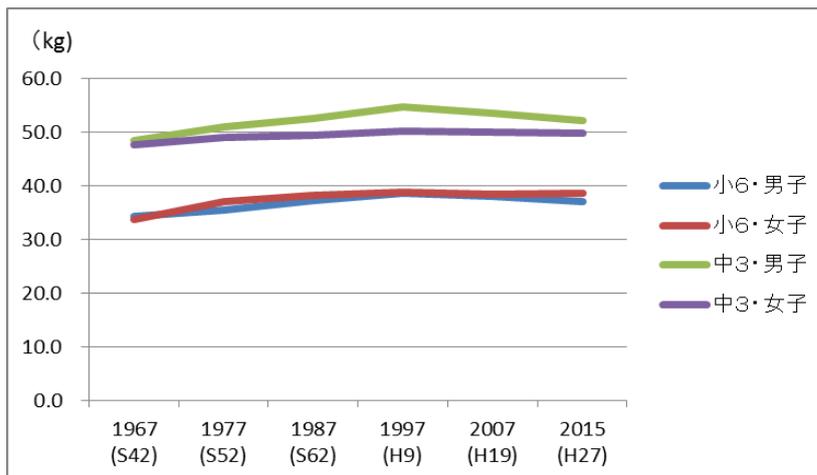
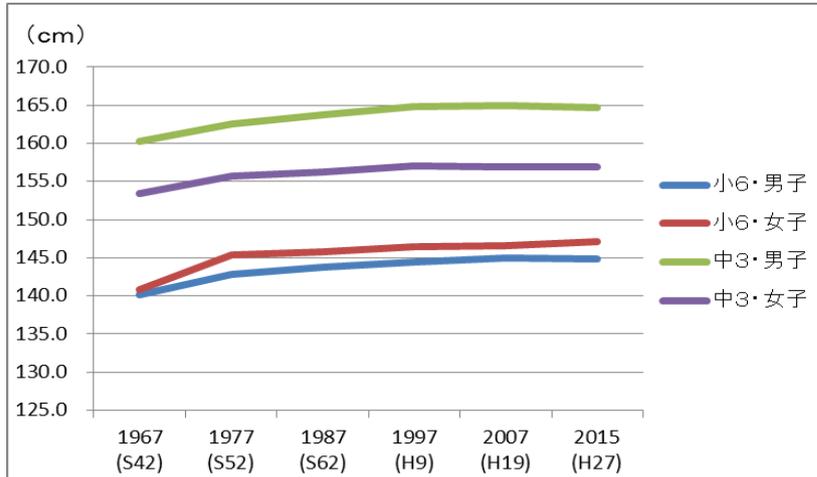


資料：学校基本調査

### 10.3 児童・生徒の体格の推移

50年前と比較すると身長は、どの学年についても約4cm伸びています。体重は、約2kg増加しています。

#### ○身長・体重の推移



資料：教育管理課



【昭和41年頃の予防接種の様子】



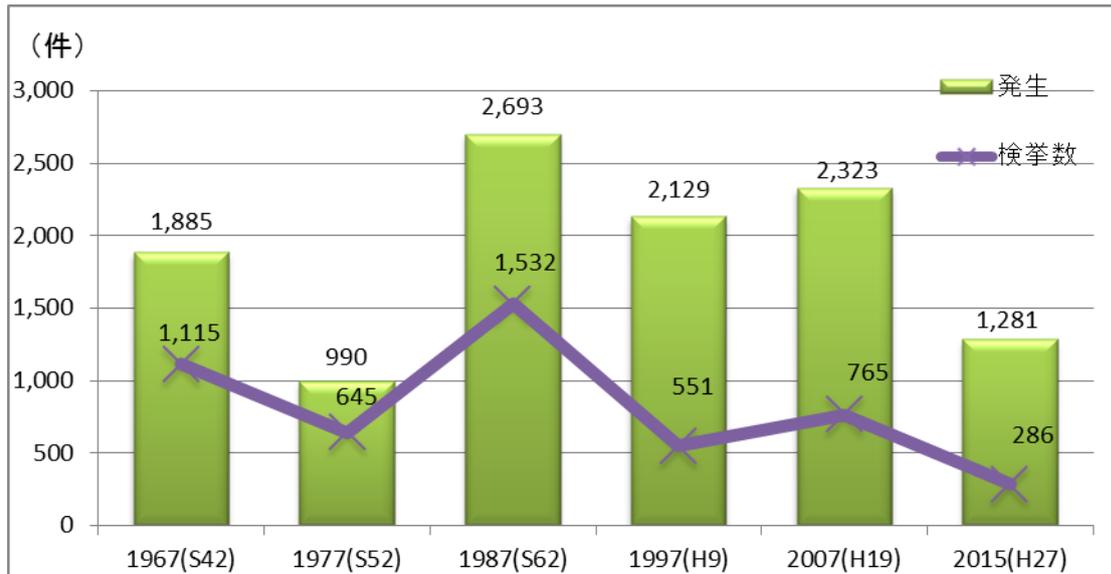
【昭和43年頃の健康診断の様子】

# 1 1 警察・消防

## 1 1. 1 刑法犯発生検挙状況の推移

刑法犯の発生数は、ピーク時に比べ約半数に減少しています。一方、検挙数も減少しています。

○刑法犯発生検挙状況の推移



資料：朝霞警察署

### 埼玉県内市区町村ランキング

・人口 1,000 人あたりの刑法犯認知件数（平成 27 年 1 月～12 月）

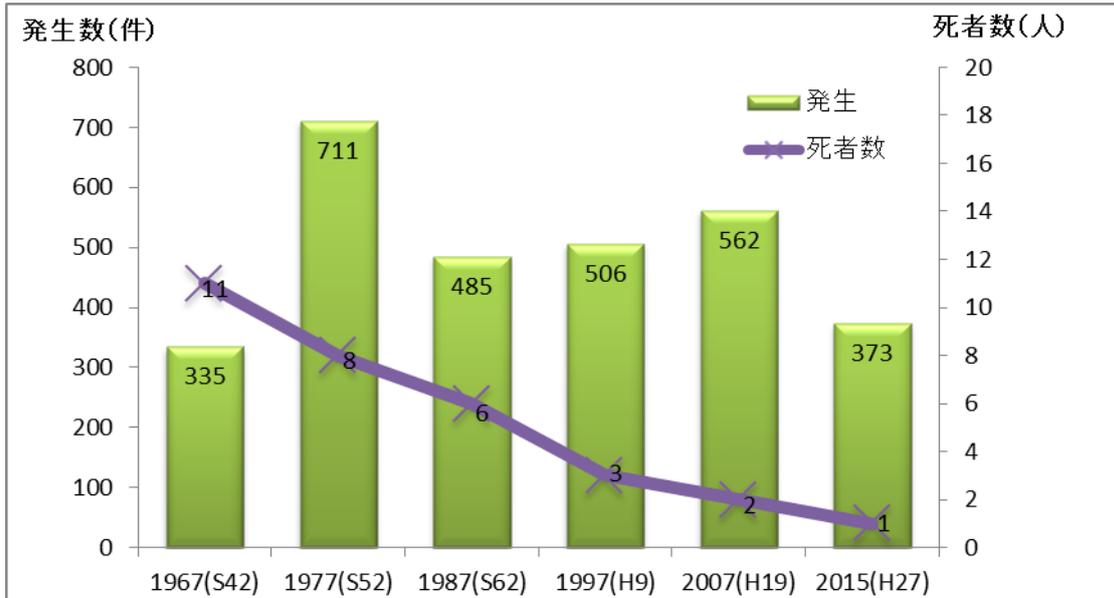
順位	市区町村	認知件数	推計人口	犯罪率
	合計	73,456	7,242,442	10.14
1	さいたま市大宮区	2,188	113,142	19.34
2	蕨市	991	71,639	13.83
3	川島町	275	20,917	13.15
4	越谷市	4,312	333,689	12.92
5	三郷市	1,719	135,574	12.68
6	戸田市	1,599	132,354	12.08
7	さいたま市岩槻区	1,315	109,829	11.97
8	羽生市	655	55,011	11.91
9	草加市	2,929	246,219	11.90
10	春日部市	2,772	233,616	11.87
11	新座市	1,887	162,217	11.63
:				
<b>29</b>	<b>朝霞市</b>	<b>1,281</b>	<b>134,137</b>	<b>9.55</b>

資料：埼玉県警察本部 HP

## 11.2 交通事故発生状況の推移

交通事故の発生数は、ピーク時に比べ約半分に減少しています。また、死者数も右肩下がりに減少しています。

### ○交通事故発生状況の推移



資料：道路交通課

### 埼玉県内市町村ランキング

・人口1,000人あたりの人身交通事故発生件数（平成27年12月末）

順位	市町村		認知件数	犯罪率
	合	計	28,989	4.04
1	本庄市		489	6.15
2	美里町		69	5.95
3	上里町		186	5.90
4	八潮市		461	5.39
5	川島町		108	5.09
6	三芳町		190	4.97
7	川越市		1,717	4.91
8	熊谷市		986	4.89
9	久喜市		756	4.89
10	行田市		410	4.86
:				
<b>61</b>	<b>朝霞市</b>		<b>373</b>	<b>2.78</b>

注：高速道路の事故は除く

資料：埼玉県警察本部 HP

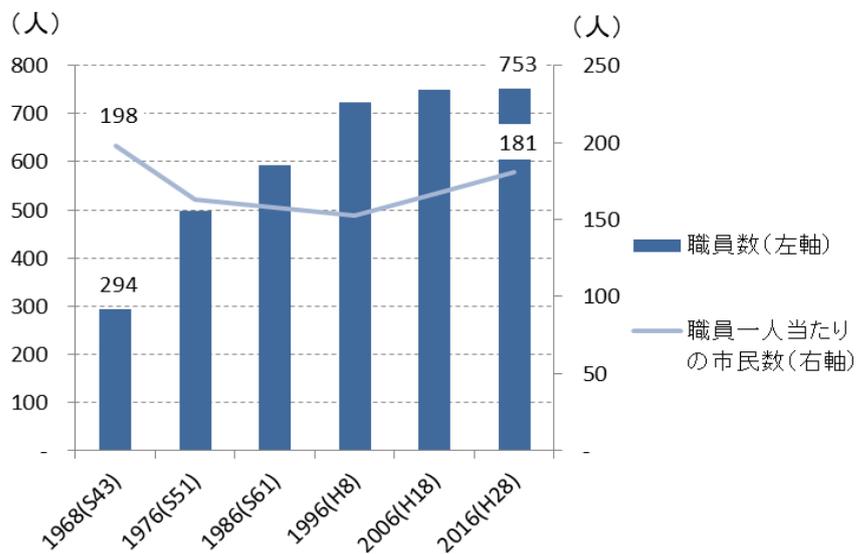


## 12 行政

### 12.1 職員数

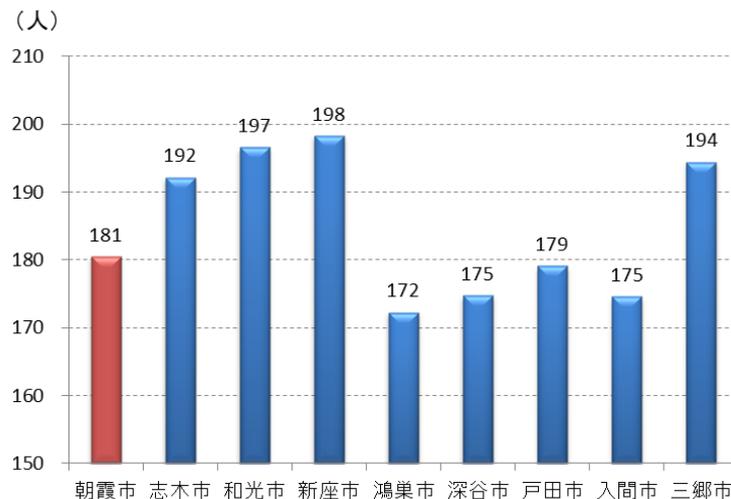
人口の増加に伴い、職員数も増加しています。職員一人あたりの市民数については、1996(H8)年から微増傾向です。朝霞地区4市及び人口規模が朝霞市と同程度との県内自治体との比較をすると、平均的な人数となっています。

#### ○市の職員数



資料：職員課 ※職員数は消防職員を除く

#### ○職員1人当たりの市民数の比較(平成28年)



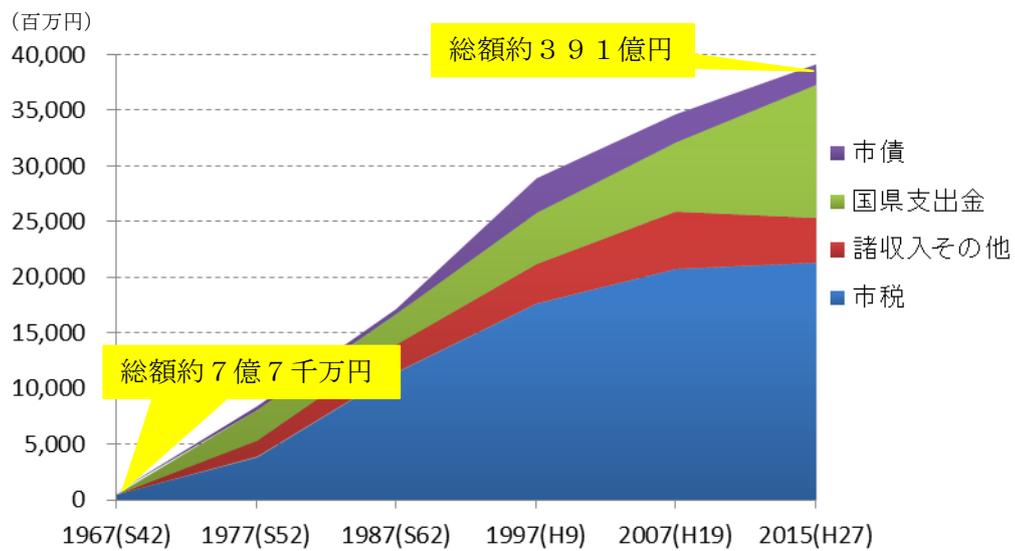
資料：各市HP(人口), 地方公共団体定員管理調査(職員数)

# 13 財政

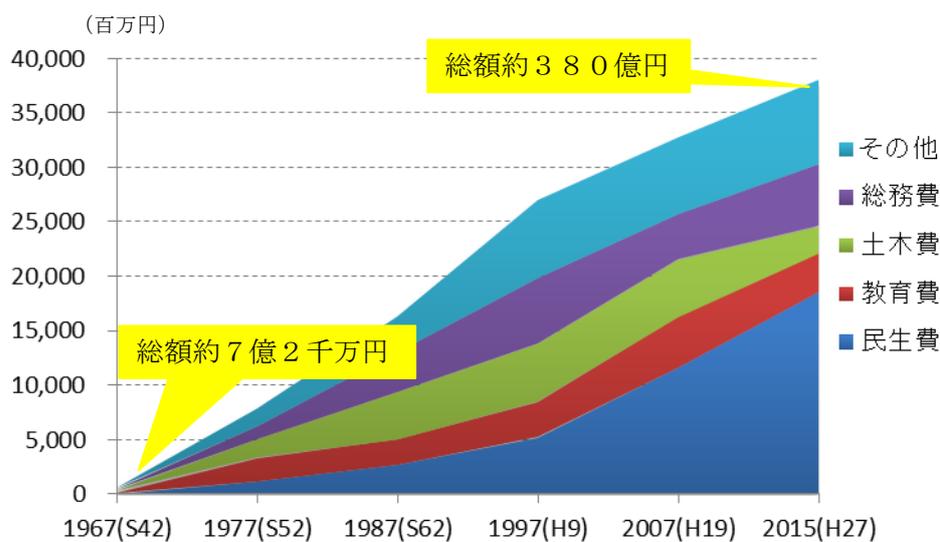
## 13.1 一般会計歳入歳出決算の推移

歳入、歳出ともに大幅に増加しています。中でも歳出決算の福祉や子育て支援を行う民生費の増加が著しく、平成27年度決算では、歳出総額380億円のおよそ半分を占めています。

### 歳入決算の推移



### 歳出決算の推移



統計で振り返る朝霞市役所 ～50年の歴史～  
History of ASAKA

平成29年7月発行

編集 市長公室市政情報課広聴統計係

〒351-8501 埼玉県朝霞市本町1-1-1

電話 048-463-3163 (直通)

E-mail sisei\_joho@city.asaka.lg.jp